

2007

2007 3

2007

2007 3

1-2

1

2

5

9

10

12

14

16

19

20

21

22

26

28

32

34

35

38

46

47

49

59

61

63

68

69

79

81

85

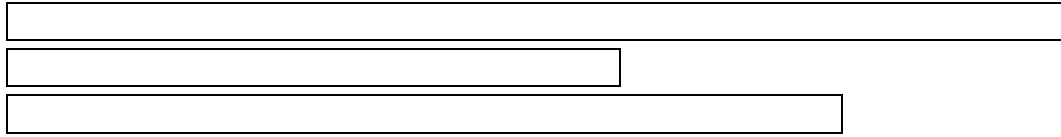
89

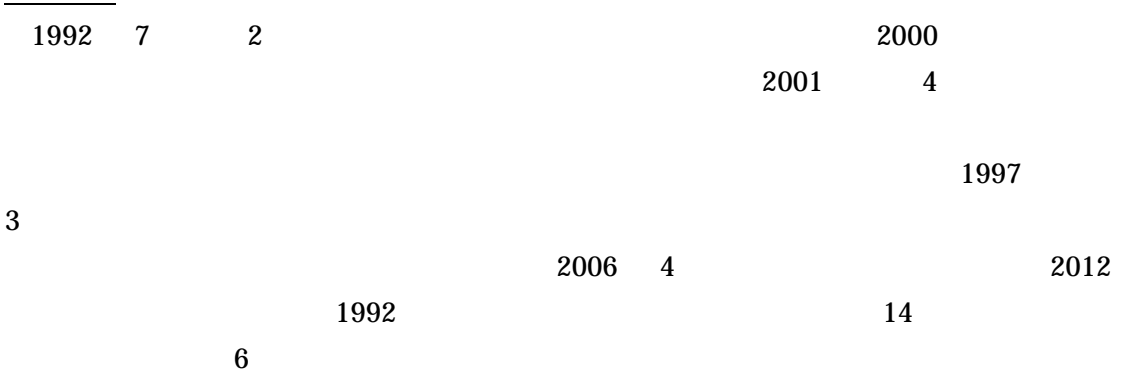
91

92

94

1-3





2004 2005

GDP, Gross Domestic Product

GDP
GNP

GDP
GDP

GDP

GDP GDP GDP
GDP GDP÷ GDP 1

GDP
GDP
GDP

GDP GDP GDP 2006 10
12 GDP GDP 8
GDP
2007 2 15

PPP= Purchasing Power Parity

OECD

× ÷

2006 6

1 2002 2006
1)

1) 2006 3 20 2,000
979 1,364 68.2% 40
(684) (575) 3,000 20 1,288 42.9%
29 2
No.137, 2006 12

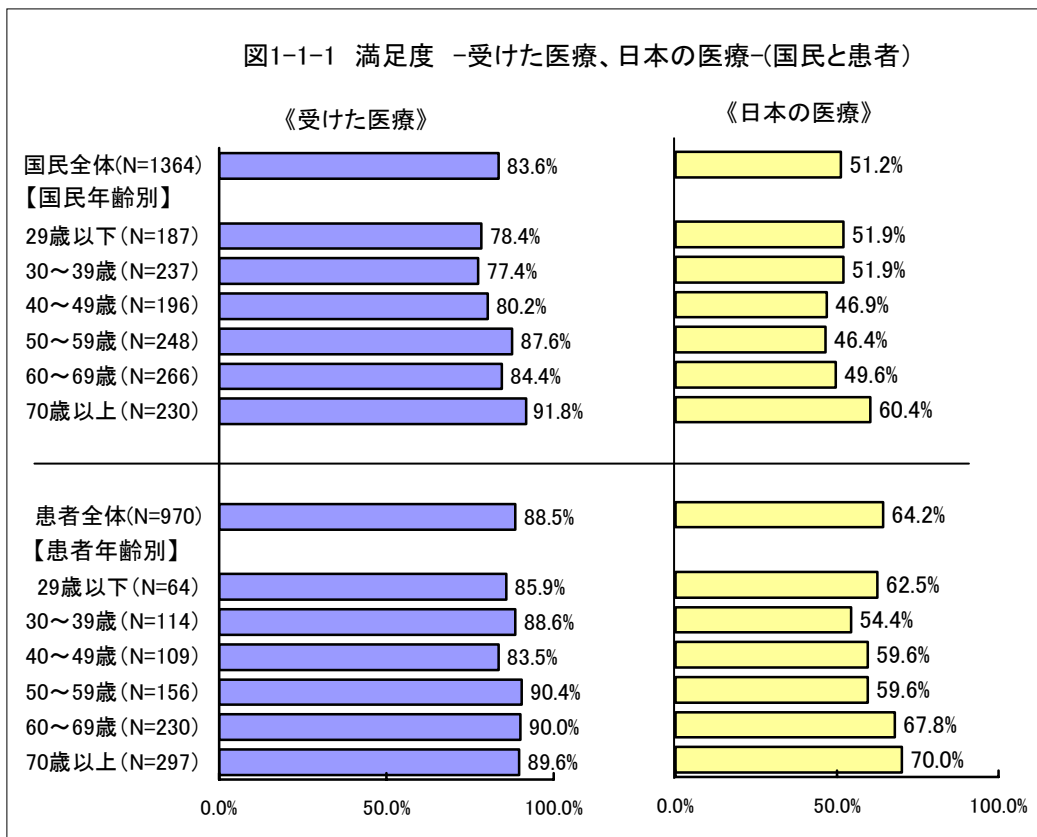
83.6

88.5

1-1-1 92.5

70.7

51.2 64.2

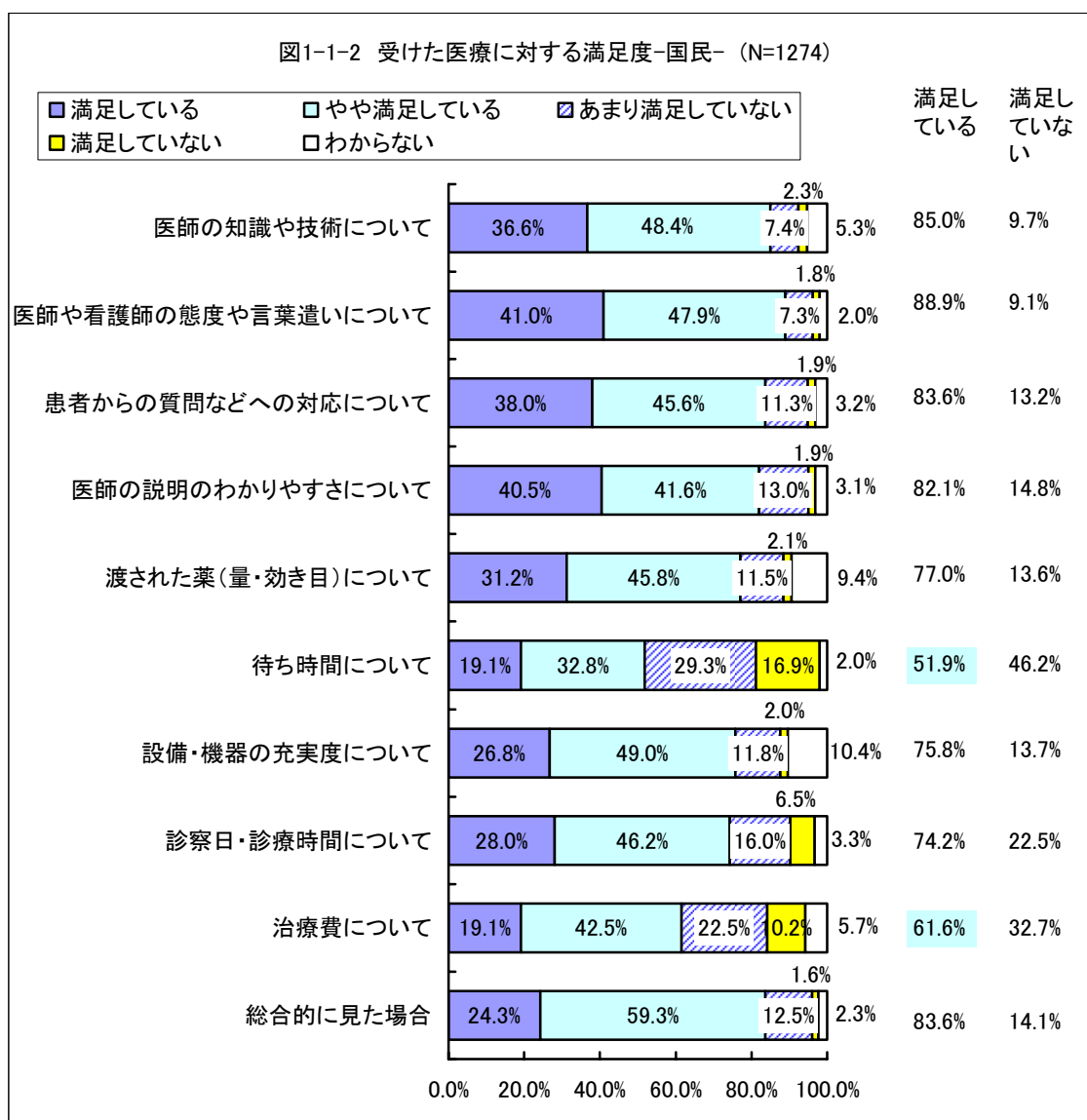


51.9%

61.6%

1-1-2

28.0



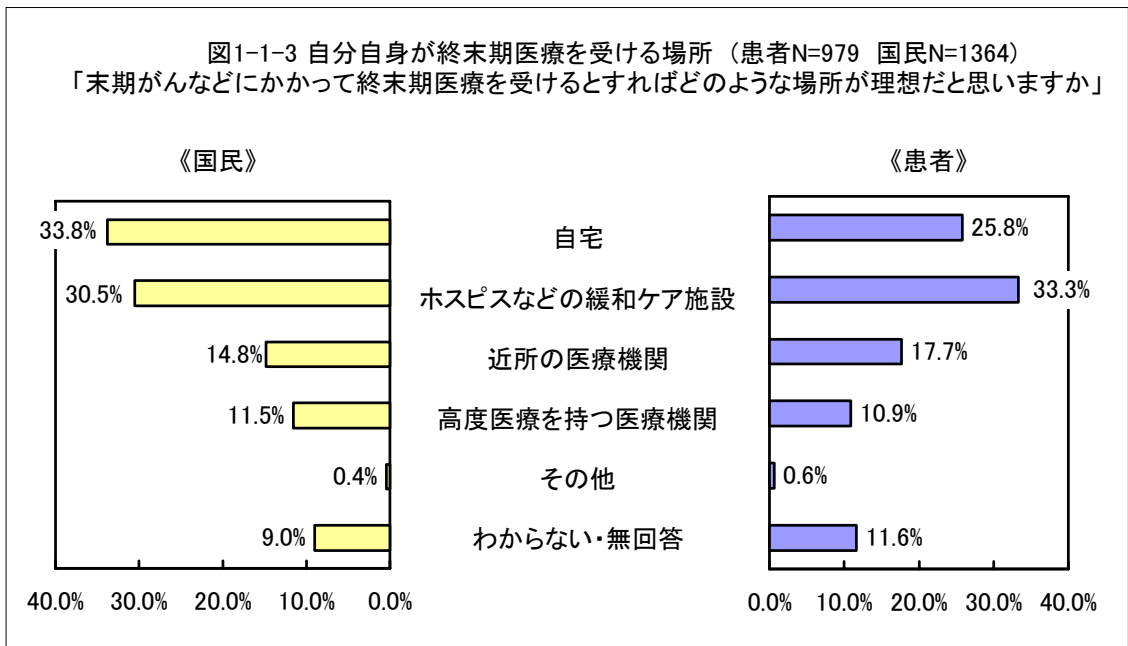
30.5% 33.8% 25.8% 33.3%

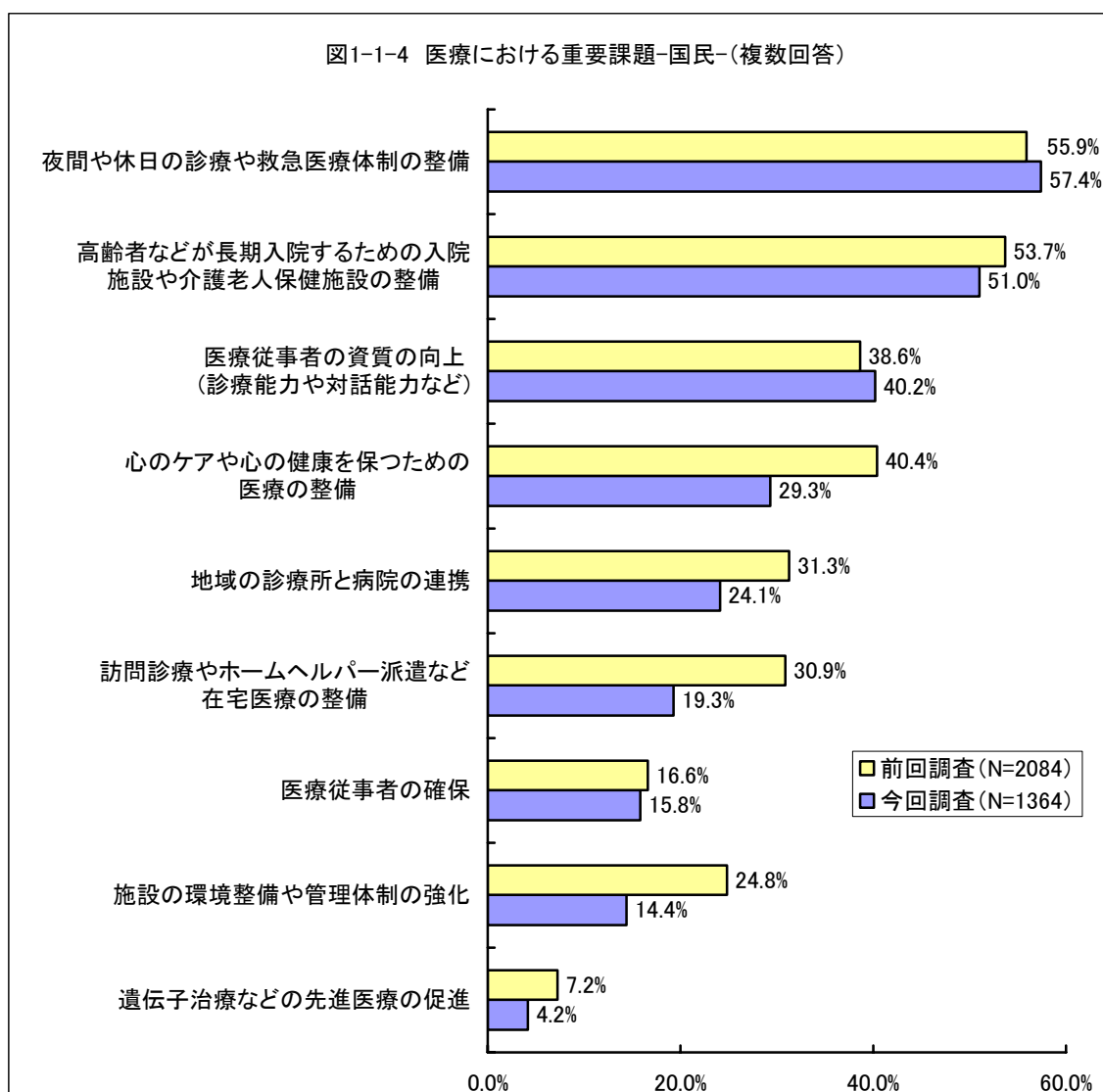
1-1-3

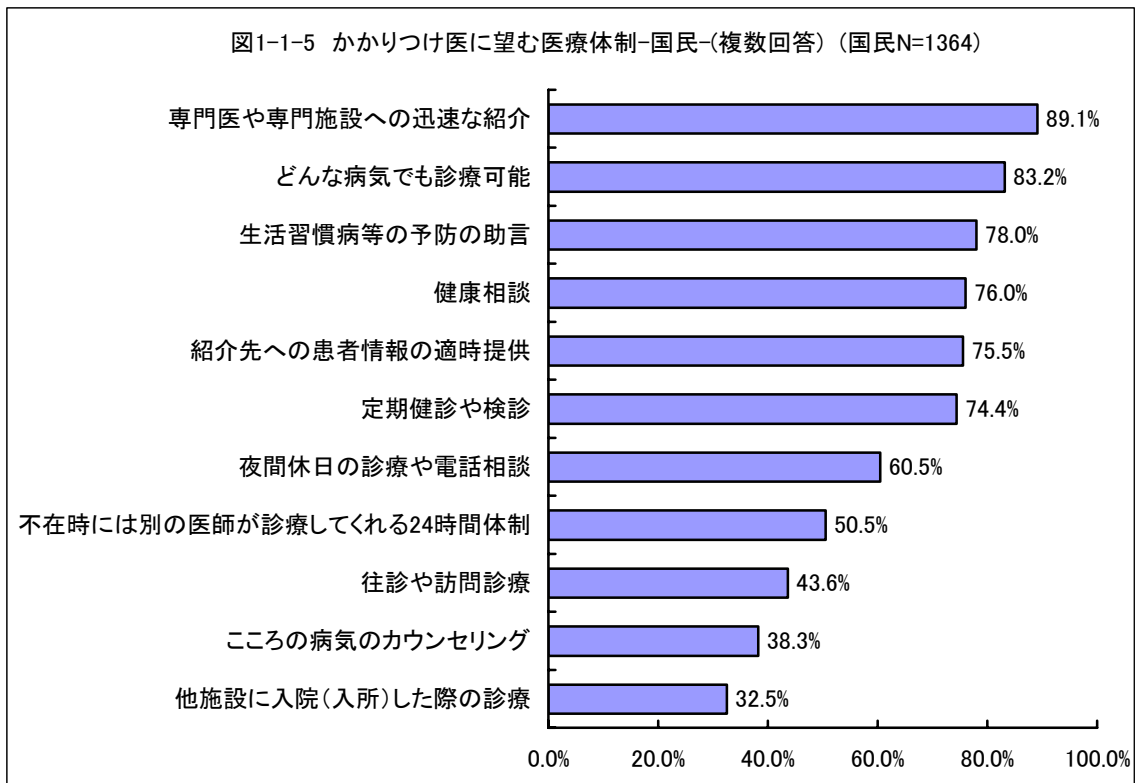
2005 12.2% 1951 82.5%

2)

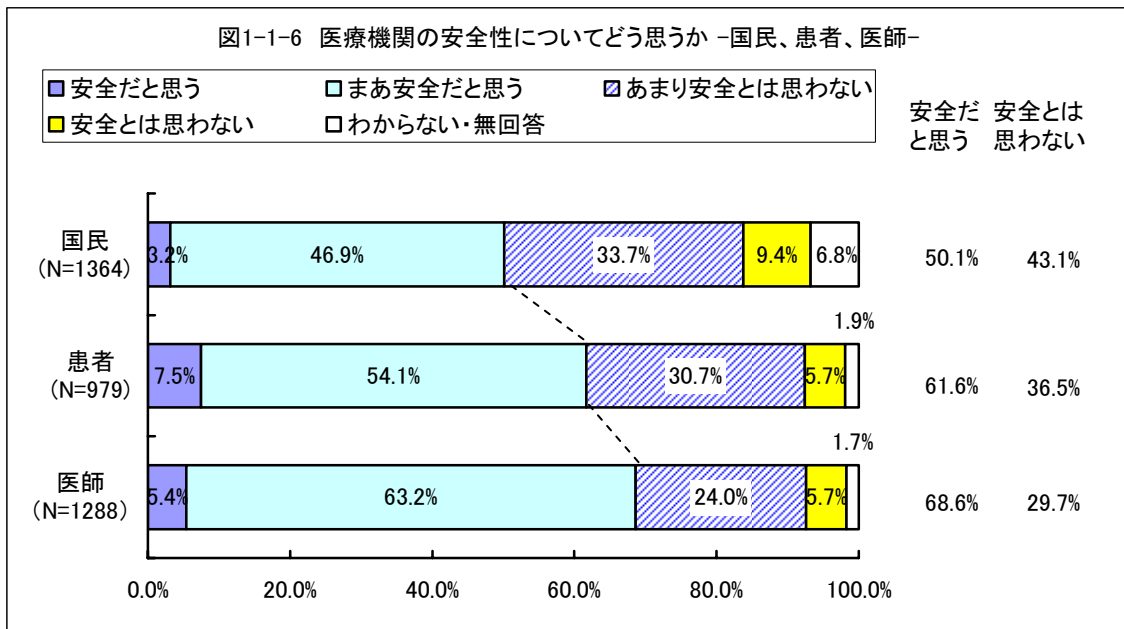
1

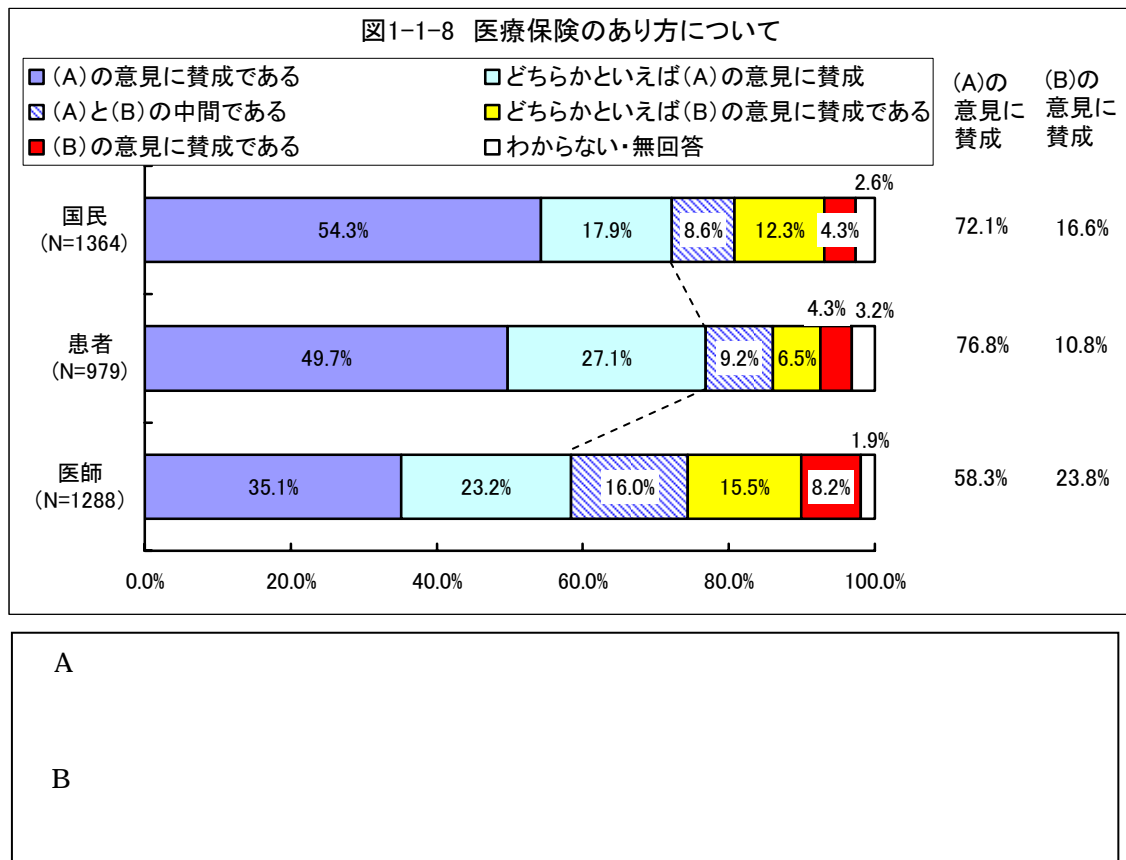




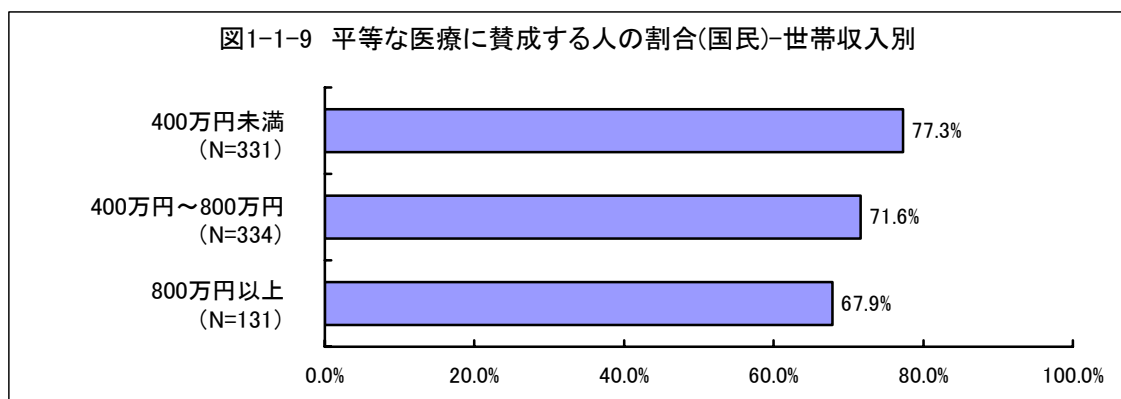


61.6%
 47.8% 57.4%
 43.1 36.5 1-1-6
 57.3
 43.4





77.3% 400 800 71.6% 800 67.9% 1-1-9



1-1-10

1-1-11

図1-1-10 医師が抱える課題-病院医師、診療所医師-(複数回答)

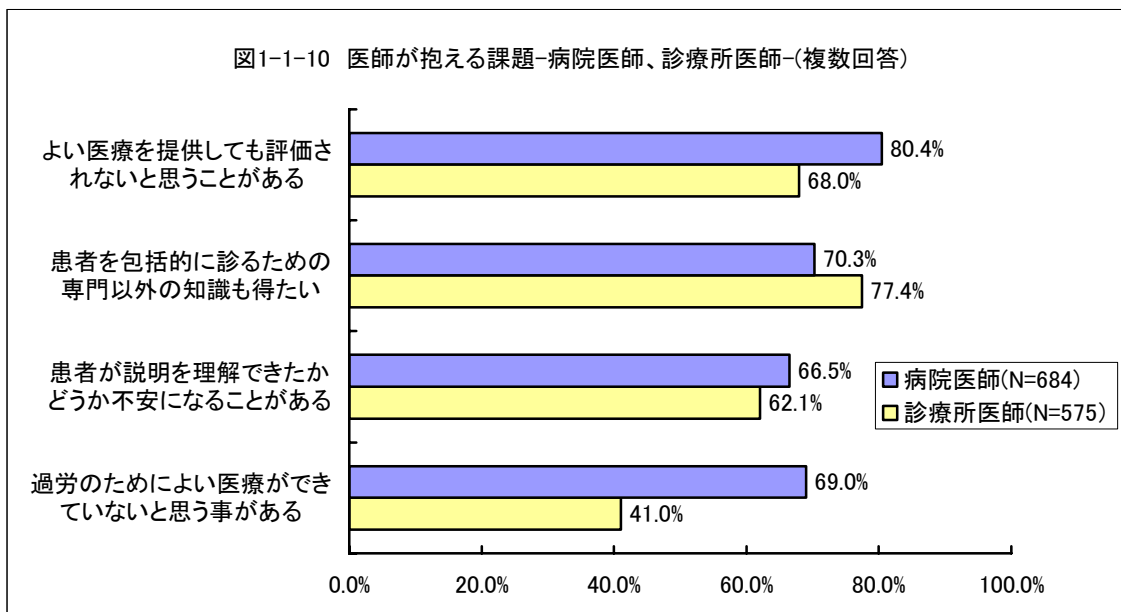
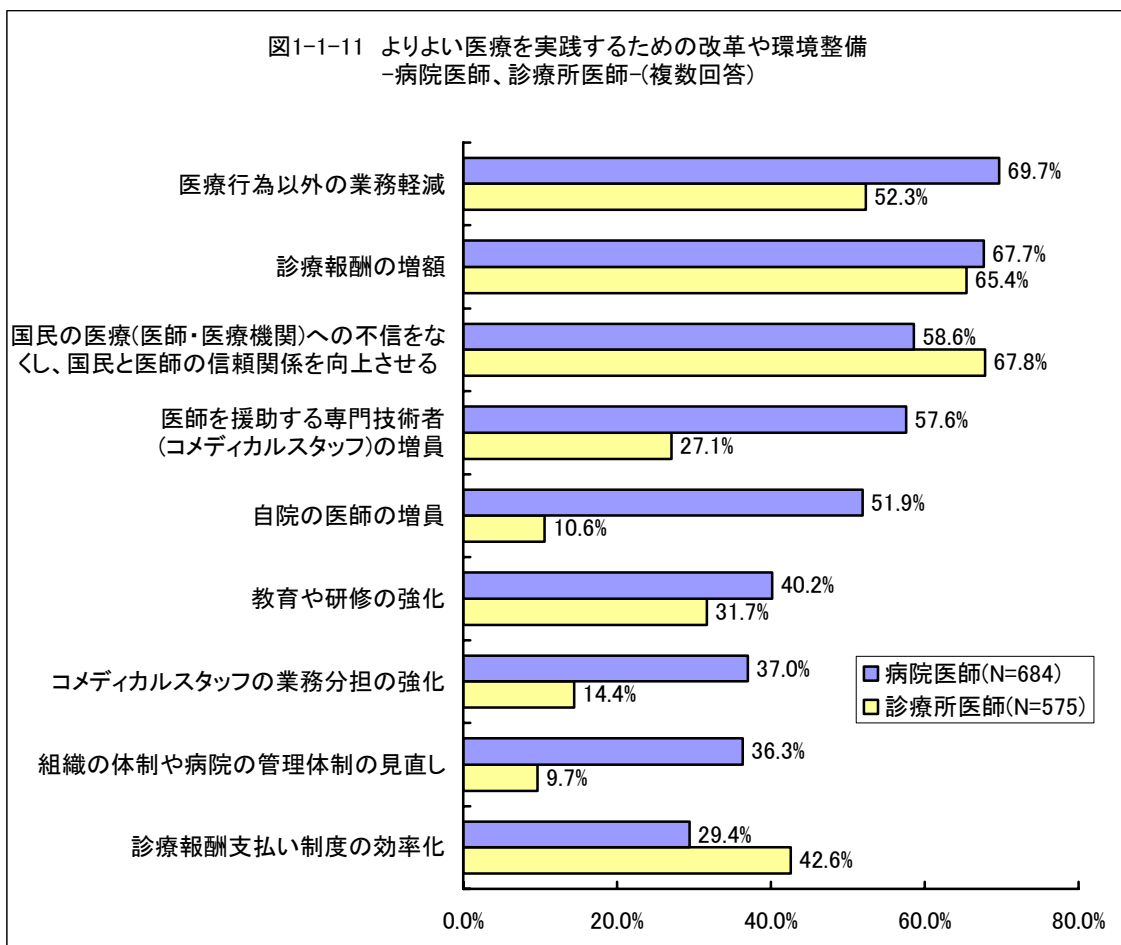
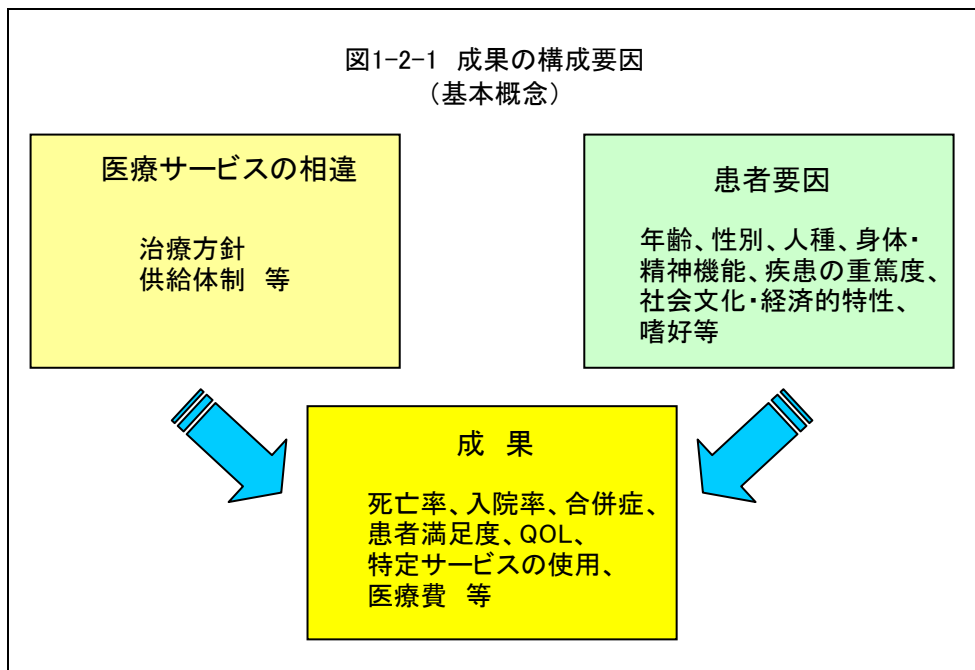


図1-1-11 よりよい医療を実践するための改革や環境整備-病院医師、診療所医師-(複数回答)



1-2-1



4)

21

5)

4) 21 2004 12

5) 21

2006 2 18
2006 3 10

Code of Medical Ethics.2005

Code of Medical Ethics.2005

10

11

P4P Pay for Performance

Value-based

purchasing

Quality Indicators

P4P

2004

National Health

Service NHS GP General Practices, P4P

CMS Center for Medicare and Medicaid

Services

NHS

		1997		
6)	1.5			NHS
	2004	GP		P4P
	10			146
		0	56	
		1-2-1		
	3	18	UK	3,600

P4P

P4P

P4P

P4P

P4P

6) NHS

Medicine

EBM Evidence Based
NHS
No.140, 2007 2

表1-2-1 10の診療領域(慢性疾患)からの質の評価指標(Quality Indicators)の例

診療領域	指標番号	説明	ポイント	報酬範囲*(%)
喘息	6	過去15ヶ月間において喘息の診察を受けた喘息患者の比率。	0-20	25-70
がん	2	がんの診断が下されて6ヶ月以内に診察されたがん患者の比率(ただし、2003年4月1日以降にがんの診断が下されていること)。なお、支援の必要性の評価や二次治療との調整のための診察を含む。	0-6	25-90
慢性的閉塞性肺疾患	3	排気量測定法や可逆性テストによって診断された、慢性的閉塞性肺疾患の患者の比率。	0-5	25-90
冠動脈心臓疾患	6	過去15ヶ月以内で最後に測定された血圧が150/90 mm Hg以下である冠動脈心臓疾患の患者の比率。	0-19	25-70
糖尿病	12	最後に測定された血圧が145/85 mm Hg以下である糖尿病患者の比率。	0-17	25-55
癲癇	4	過去12ヶ月において痙攣がなかった、癲癇の薬物治療を受けている16歳以上の患者の比率。	0-6	25-70
高血圧	5	過去9ヶ月以内で最後に測定された血圧が150/90 mm Hg以下である高血圧の患者の比率。	0-56	25-70
甲状腺機能低下症	2	過去15ヶ月に甲状腺機能テストを受けている甲状腺機能低下症の患者の比率。	0-6	25-90
精神疾患	2	過去15ヶ月で深刻な長期の精神疾患で診察を受けた患者の比率。なお、処方された薬剤が正しいかどうかのチェック、体の健康の診察、二次治療との調整のための診察を含む。	0-23	25-90
脳梗塞	8	過去15ヶ月以内で最後に測定された血清コレステロール値が193 mg/dl (5 mmol/l)以下である、一時的な虚血発作あるいは脳卒中を起こした患者の比率。	0-5	25-60

* ポイントはこの範囲内で変動方式で与えられる。例えば、指標番号6の喘息では、喘息での登録患者の最低限25%を診察すると、いくらかのポイントを得ることができ、喘息での登録患者の70%以上を診察することで最大の20ポイントを得ることができる。

資料: Doran, T., Fullwood, C., Gravell, H., Reeves, D., Kontopantelis, E., Hiroeh, U. and Roland, M. (2006). "Pay-for-Performance Programs in Family Practices in the United Kingdom," *The New England Journal of Medicine*. 355(4): 375-384. Table 1.

NHS CMS P4P

NHS CMS P4P

P4P

P4P

	1985	8	12	123
520		4		123

		2	20	25G
4				

QOL Quality of Life=

	GDP						
	GDP		1995	6.8	OECD		7.7
OECD	29	23	2003	8.0	8.8	30	18
					1-3-1,	1-3-2	
	1997						
	GDP						
	GDP		2005	8.4			1-3-1

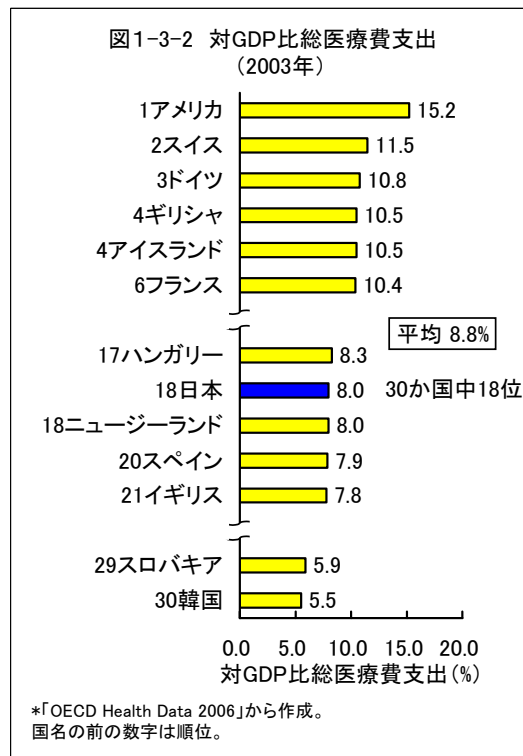
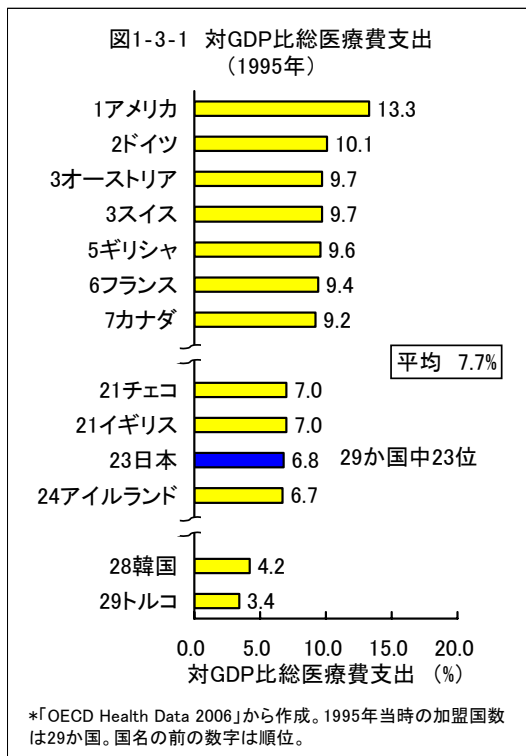
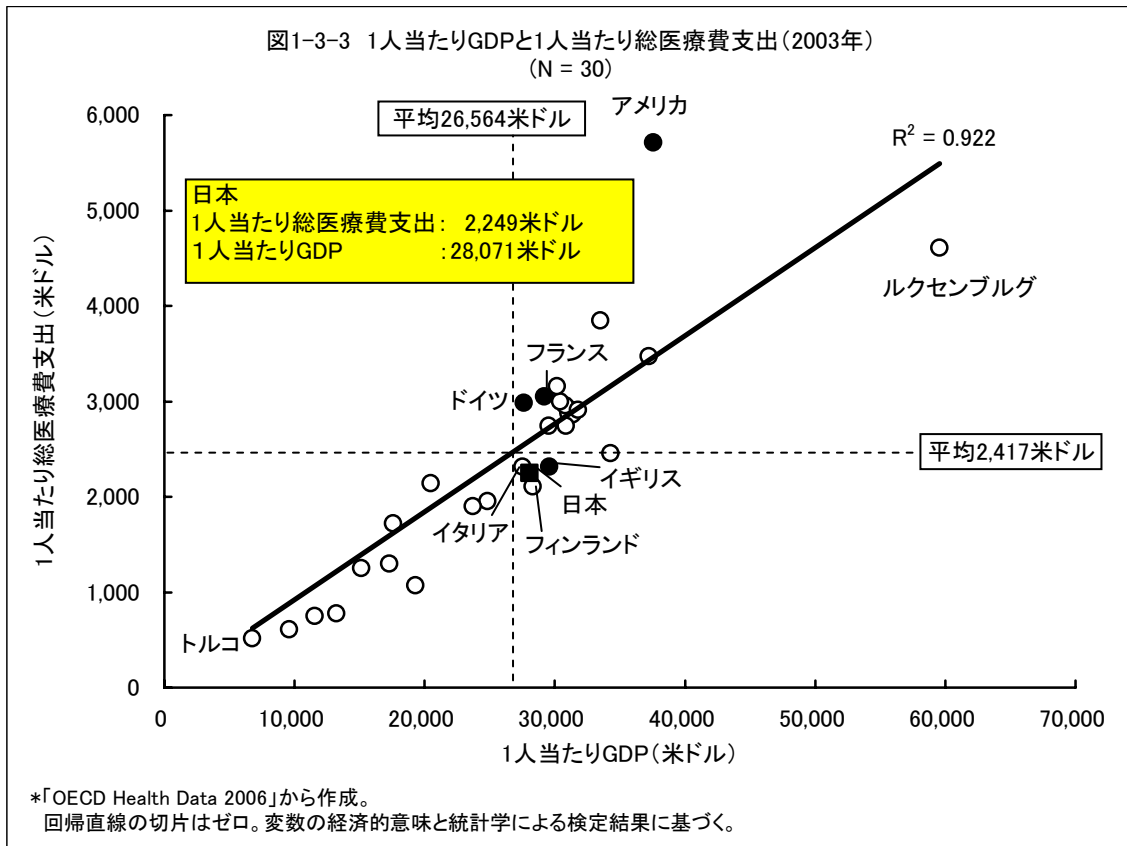


表1-3-1 日本とイギリスにおける対GDP比総医療費支出の比較

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
日本	6.8	7.0	6.9	7.2	7.4	7.6	7.8	7.9	8.0	-	-
イギリス	7.0	7.0	6.8	6.9	7.1	7.3	7.5	7.7	7.8	8.1	8.4

*「OECD Health Data 2006」から作成

	1		1	GDP	
2003	1	GDP	2	8,071	OECD
6,564			1		2,249
	2,417		1	GDP	
	1				
	4		1-3-3		

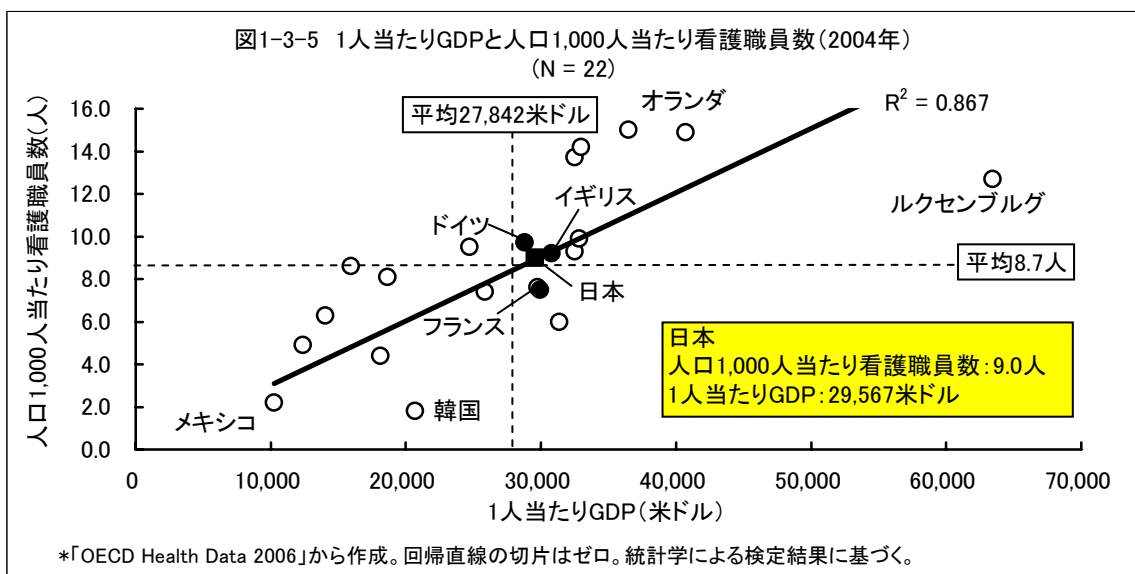
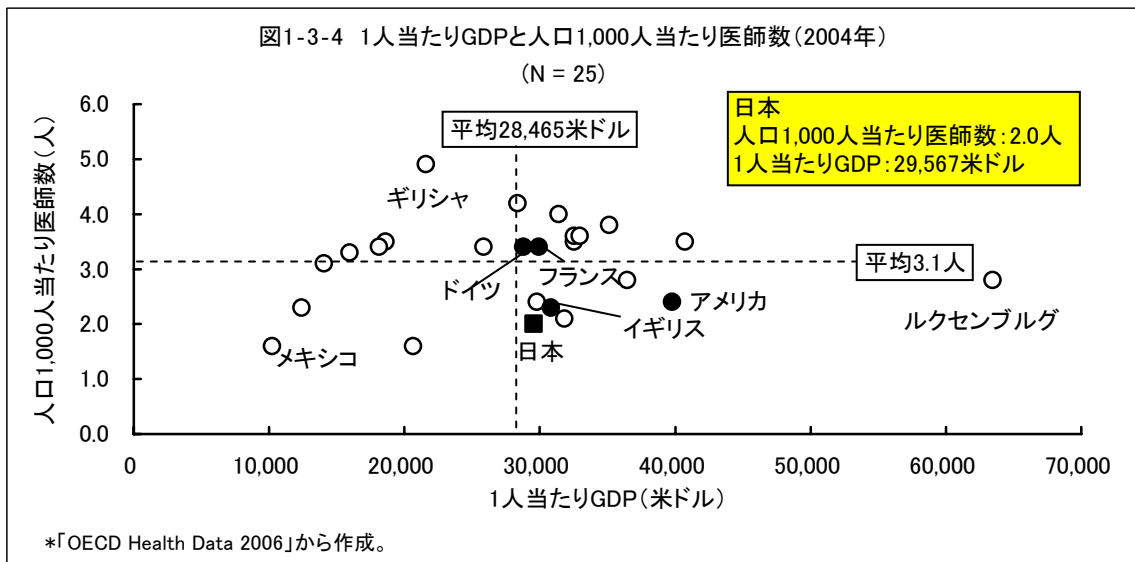


GDP 1,000
 GDP 1,000 2004
 1,000 2.0 3.1 1 GDP

1-3-4

2004 1,000 9.0 8.7

1-3-5



1 GDP

1

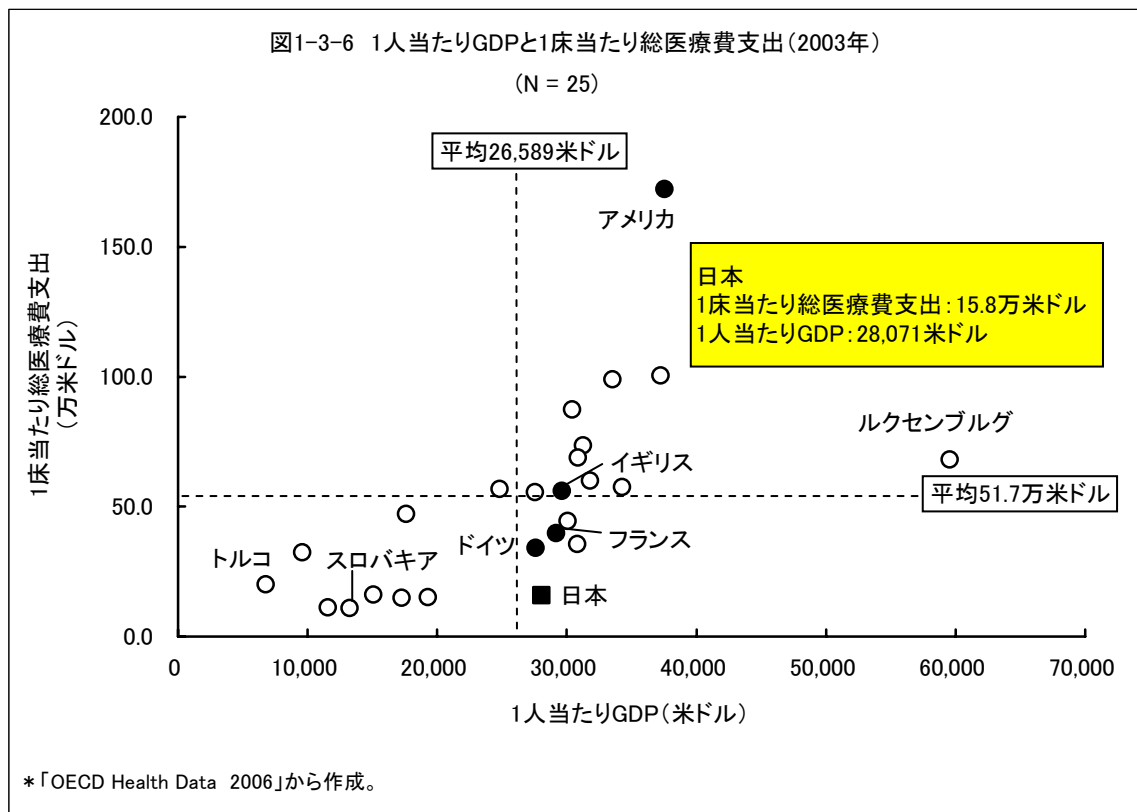
15.8

1

GDP 2

GDP

1-3-6



5 1,000 65 1995 14.6

2005 10) 19.7 5.1 5 10

1995 15.5 2005 18.8 1995

15.6 2005 16.3 5

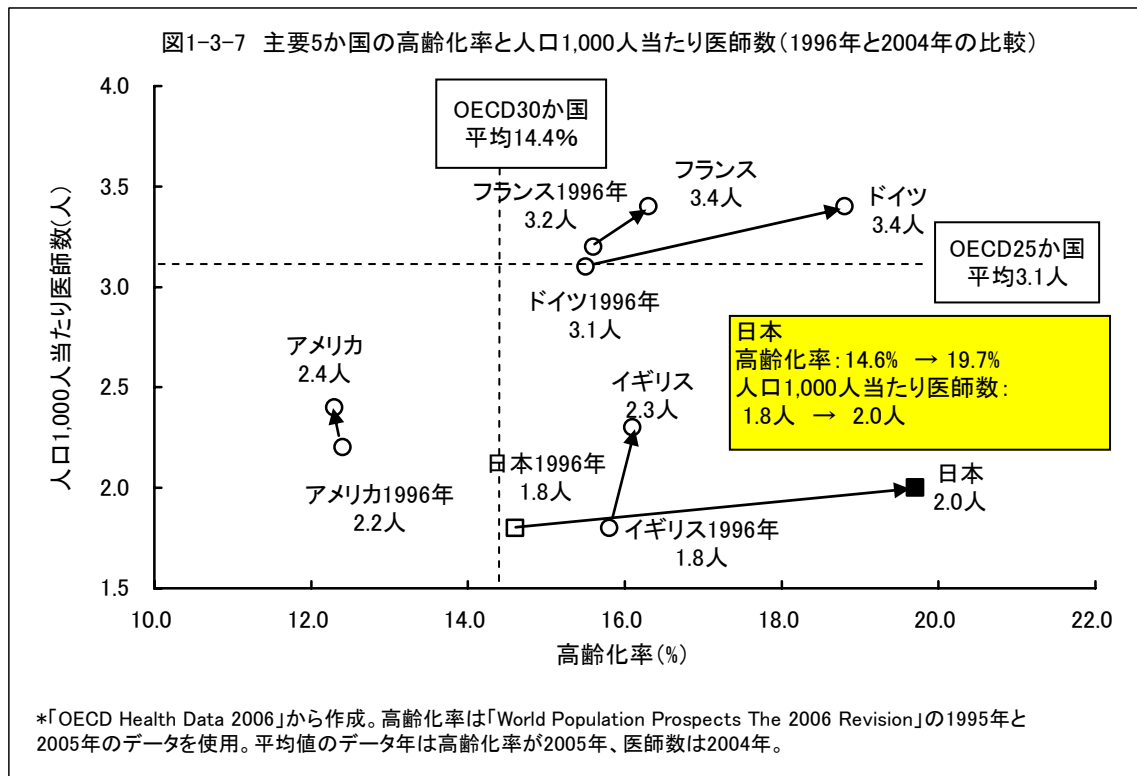
2004 2005

1,000

1,000

0.2

1-3-7



10) World Population Prospects The 2006 Revision

United Nations Population Division

5

1

1

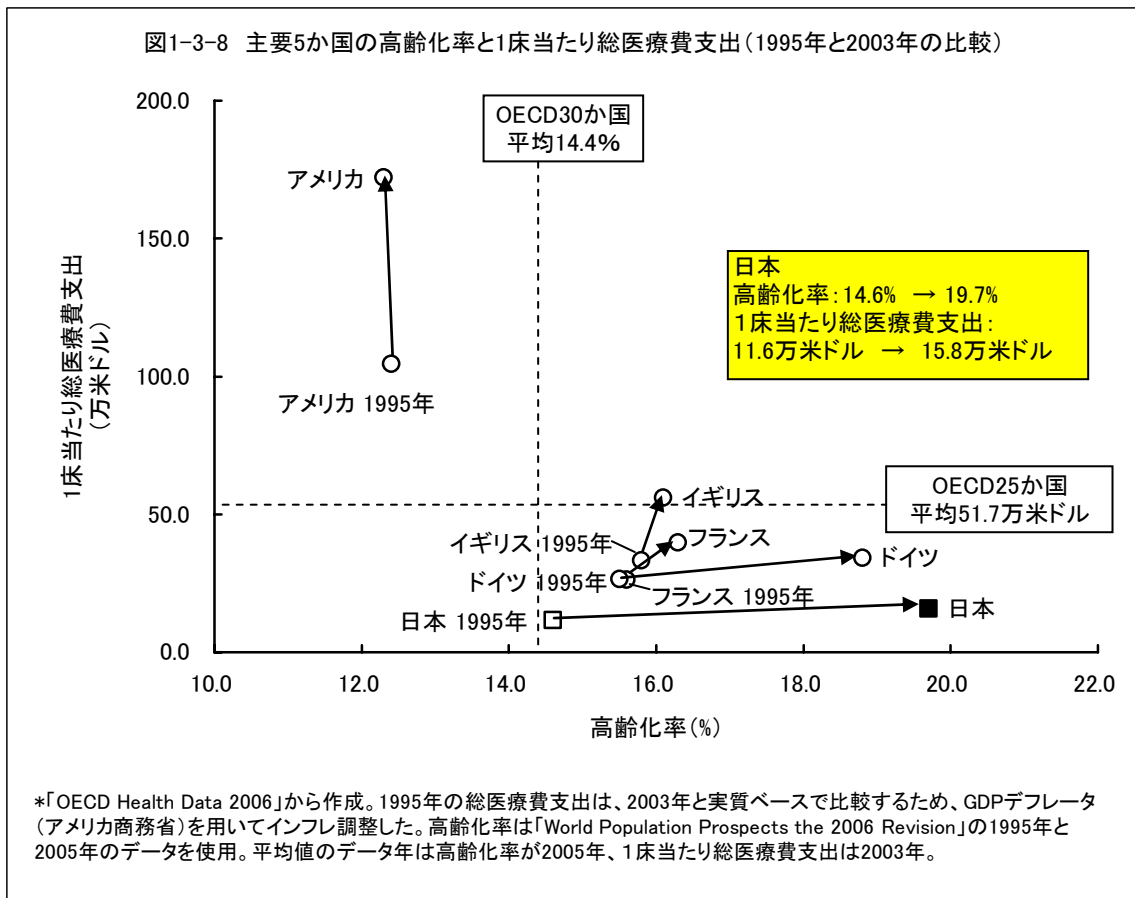
1

1

11.6

15.8

1-3-8



OECD GDP 1995 29 23
 2003 30 18 2003 GDP 2
 8,071 2 6,564
 2006 10 12 GDP
 5.6 GDP 5.5
 11) GDP GDP

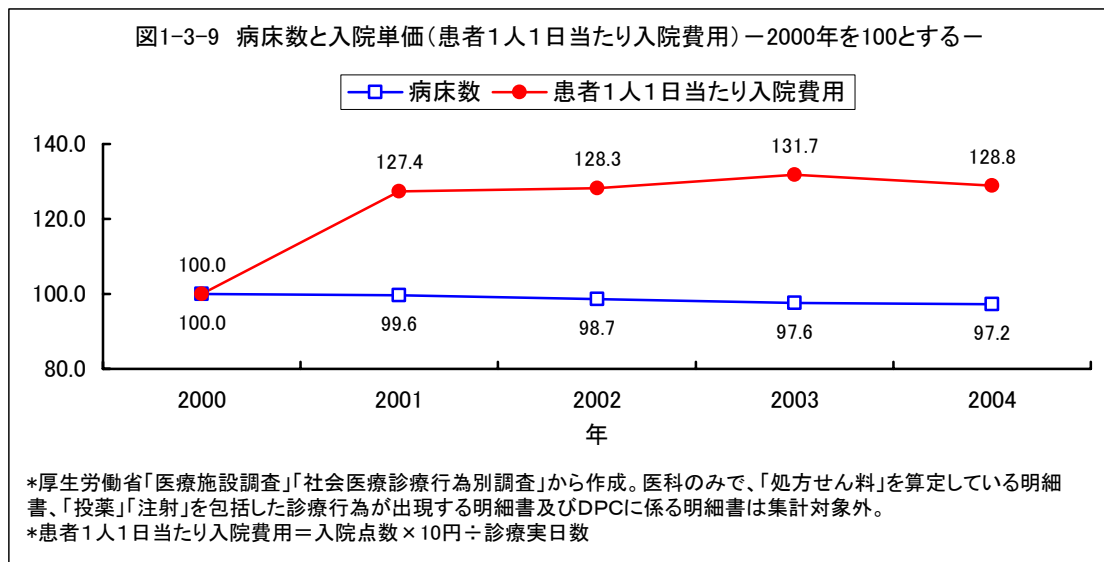
GDP 1-3-3
 GDP 2 8,071 2,249
 GDP OECD
 1 2,586 12) OECD
 1 15.0% 2,586 ÷ 2,249

GDP 1-3-2 GDP
 8.0 OECD 8.8 GDP 3 5,824
 13) 2,870 3 5,824 × 8.0%¹⁴⁾
 GDP OECD
 3,153 3 5,824 × 8.8%
 9.9 3,153 ÷ 2,870

11) 18 10 12
 12) 1-3-3
 GDP 2,586
 13) OECD Health Data 2006
 14)

GDP 2007 3 12
 , 0.0921×
 0.0921× 2 8,071
 GDP

1-3-9



1,000

2.0

OECD

3.1

55.0

14.7 ¹⁵⁾ 55.0

8.1 $0.147 \times 0.550 \times 100$

10 15

8.1

1979

NHS National Health Service

3

70

1997

1-3-10

5

¹⁶⁾

1-3-11

GDP

1-3-1

4

¹⁵⁾

52.3

28.1

14.7 52.3 \times 28.1

15

17

6

NHS

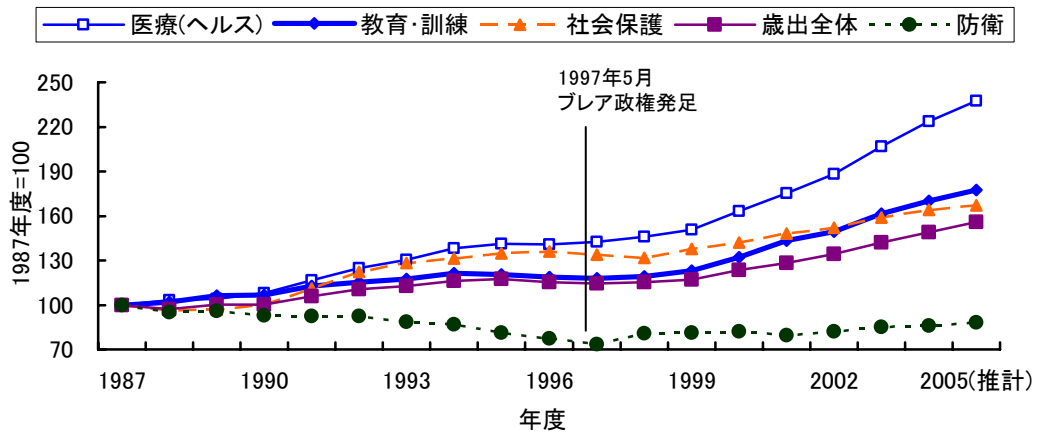
¹⁶⁾

No.19, 2002 10

NHS

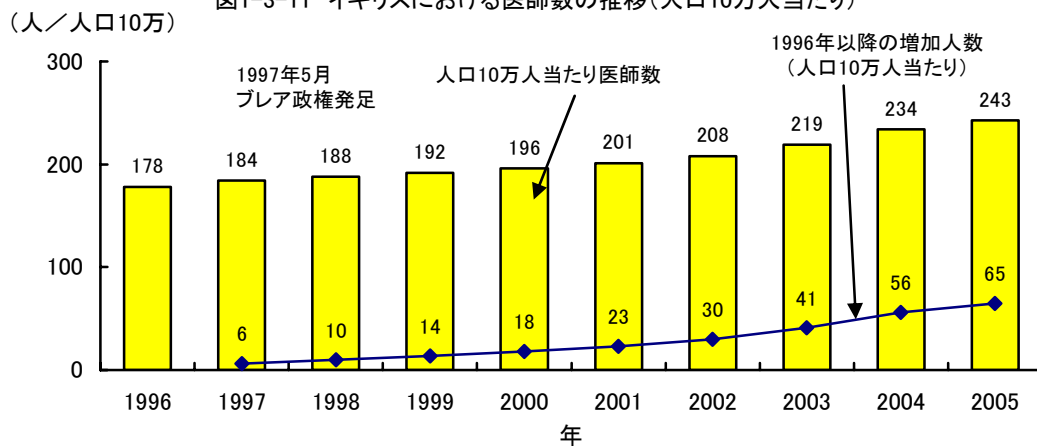
No.140, 2007 2

図1-3-10 実質ベースで見た医療への国家歳出の伸び(イギリス)



* 森宏一郎「イギリスの医療制度(NHS)改革—サッチャー政権からブレア政権および現在—」(日医総研ワーキングペーパーNo.140, 2007年2月)から作成

図1-3-11 イギリスにおける医師数の推移(人口10万人当たり)



* 森宏一郎「イギリスの医療制度(NHS)改革—サッチャー政権からブレア政権および現在—」(日医総研ワーキングペーパーNo.140, 2007年2月)から作成

				17)	75		2005
1,164		2030			2,266		
2-1-1	18)	75		2030	19.7	2005	65
		20.2		2-1-1			
					75		
1980		7.5		2005	17.0		2005
		75		16.3	75	3	1 33.2
							19)
					2-1-2		

17) 2006 6 12,775 2006 7 12,774
8 12,772 17 2006 6 12,774
2006 7 12,776
18) 18 12
19) 2-1-2

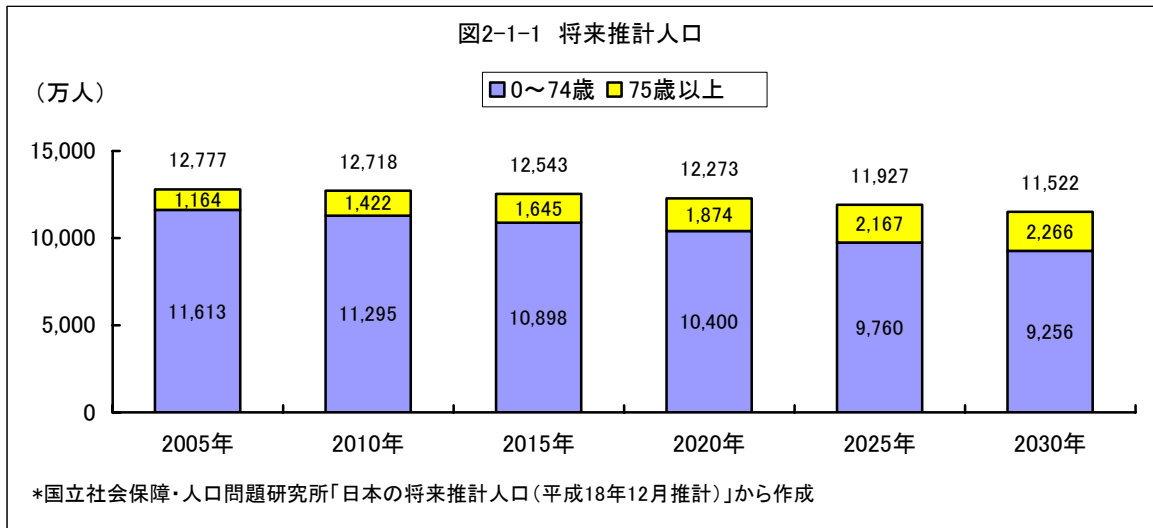
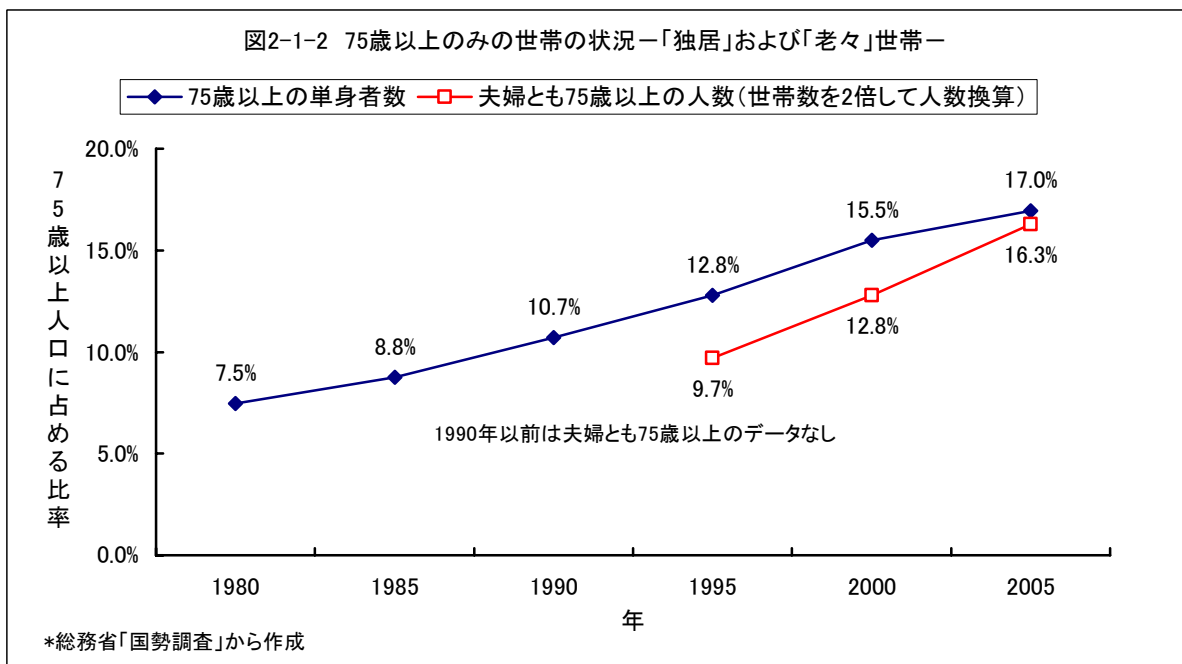


表2-1-1 将来推計人口に占める高齢者人口の比率

	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
65歳以上の人口比率	20.2%	23.1%	26.9%	29.2%	30.5%	31.8%
(再掲)75歳以上の人口比率	9.1%	11.2%	13.1%	15.3%	18.2%	19.7%

*国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」から作成



1990 194.9 2-1-3
 1990 153.6 2005 104.7
 48.9 31.9 20) 2005

2006 4 2006 4 38.1 2006
 12 36.9 2-1-4

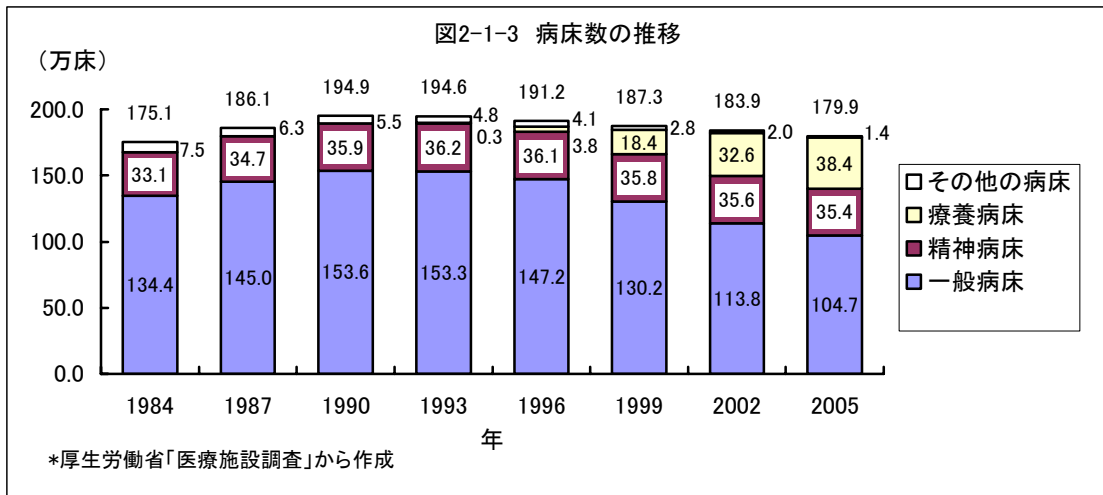
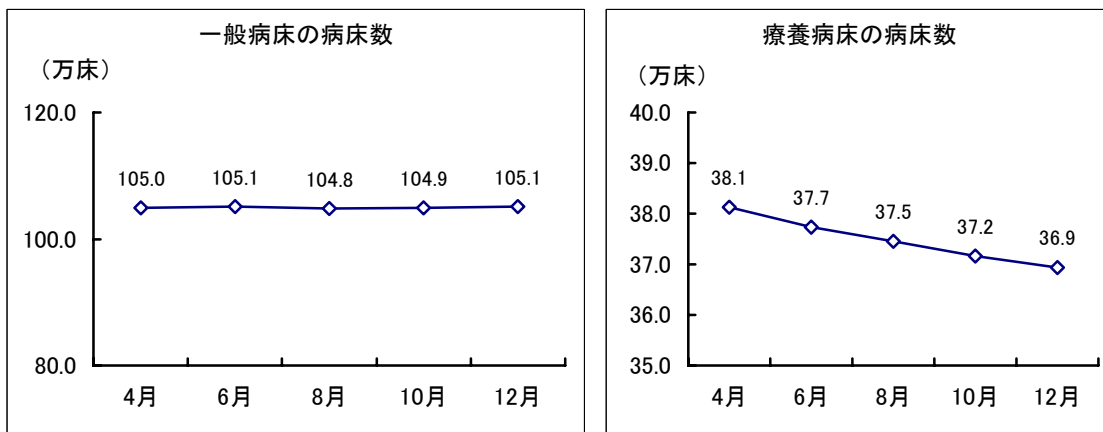


図2-1-4 2006年度の一般病床および療養病床数の推移



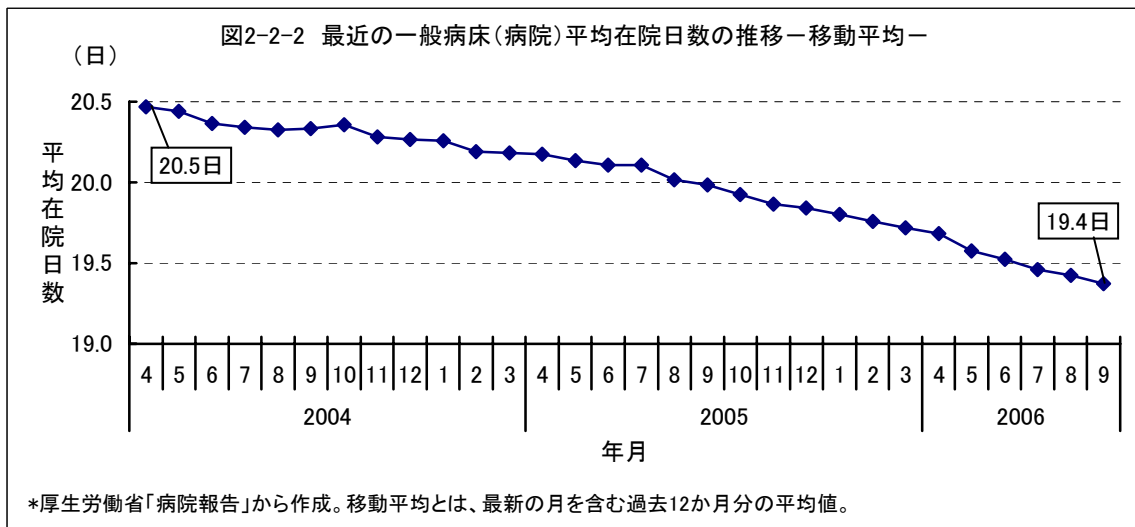
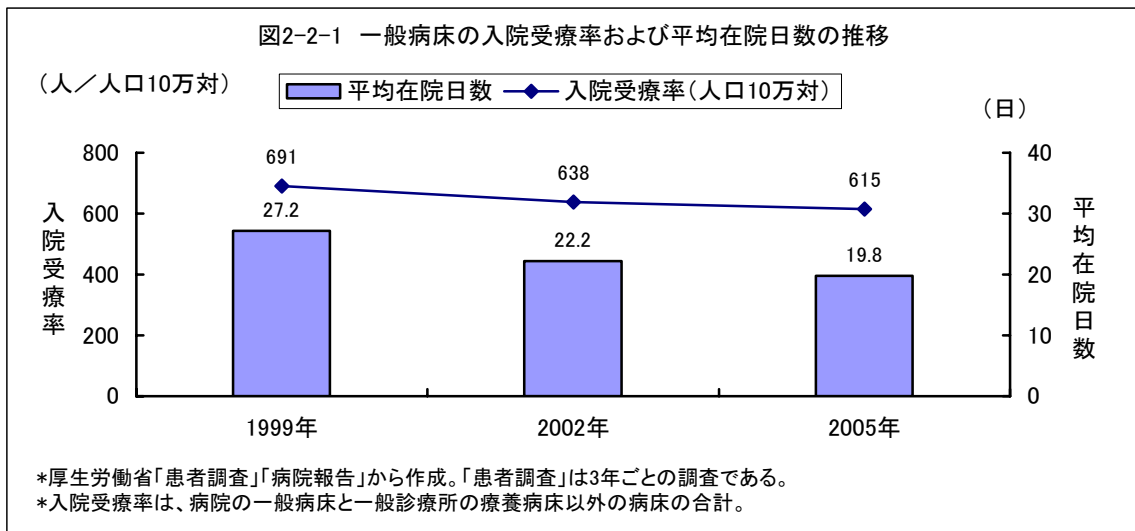
*厚生労働省「医療施設動態調査」から作成

20)

2-2-1

2 1

2-2-2



21)

		20.2		17.5		22)
	2004	20.2	2005	19.8		2.0

23)

		2		
2011	17.5	2004		
		2011	2	

80

<table border="0"> <tr> <td>2011</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>÷ 0.8</td> <td>80</td> </tr> </table>	2011	2		×	÷ 0.8	80
2011	2					
	×					
÷ 0.8	80					

21)

2005 10

22)

16 2004

2005

17.4

17.5

23)

2003 20.7

2004 20.2

2.4

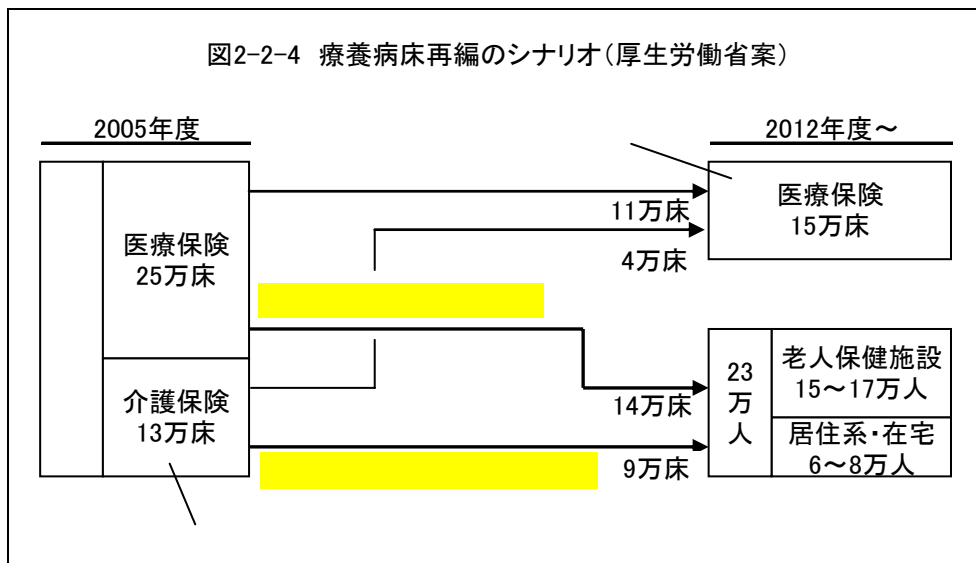
24)

2-2-4

2006

4

6



24)

6

, 2007 2 , <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/02/dl/s0205-8a.pdf>

× 0.266 × 100

2-2-3

50.5

2005

38.4

25.4

13.0

2-2-5, 2-2-2

22.0

12.6

3.8

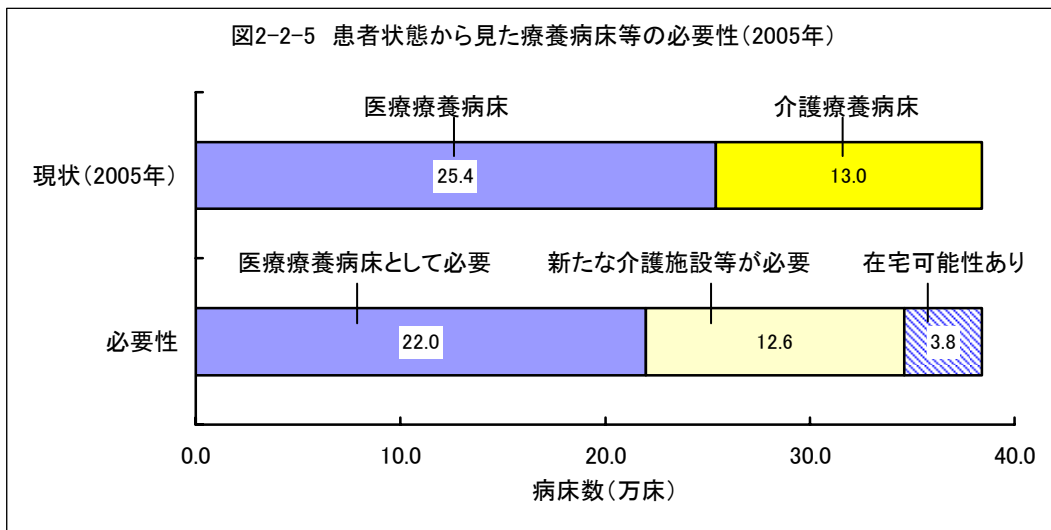


表2-2-2 患者状態から見た療養病床等の必要性(2005年)

(千床または千人)

		医療療養病床 として必要	新たな介護施 設等が必要	在宅可能 (社会的入院)	総数
医療療養病床	構成比	66.8%	23.9%	9.3%	100.0%
	病床・定員	169.7	60.6	23.7	254.0
介護療養病床	構成比	38.7%	50.5%	10.8%	100.0%
	病床・定員	50.3	65.6	14.1	129.9
計		219.9	126.2	37.8	383.9

*病床数は2005年データ。患者状態を見た日本医師会等調査は2006年実施。

表2-2-3 療養病床入院患者の状態(2006年)

1. 医療療養病床の患者の状態	100.0%
(1) 医療療養病床が必要(①+②+③)	66.8%
① 医療区分1で医療療養病床が必要(⑦×⑧×⑨)	8.9%
② 医療区分2	45.2%
③ 医療区分3	12.7%
(2) 条件が整えば在宅可能(④×⑤×⑥)	9.3%
④ 医療区分1	42.1%
⑤ 病状は安定しており退院可能(④のうち)	63.4%
⑥ 独居、日中独居ではない(⑤のうち)	35.0%
(3) 介護施設等が必要	23.9%
⑦ 医療区分1	42.1%
⑧ 病状不安定で退院不可能(⑧のうち)	30.9%
⑨ 医学的管理、処置が必要(⑨のうち)	68.4%

*社団法人 日本医師会「『療養病床の再編に関する緊急調査』報告」2006年10月

2. 介護療養病床の患者の状態	100.0%
(1) 医療療養病床が必要	38.7%
医療区分2および3	38.7%
(2) 条件が整えば在宅可能(⑩×⑪×⑫)	10.8%
⑩ 医療区分1	61.3%
⑪ 病状は安定しており退院可能(⑩のうち)	66.4%
⑫ 独居、日中独居ではない(⑪のうち)	26.6%
(3) 介護施設等が必要	50.5%

*日医総研・福岡県メディカルセンターほか「『療養病床に関する緊急調査』報告」日医総研ワーキングペーパーNo.132, 2006年8月

2006

2010

24.4

2-2-6

2-2-5

2012

15

2015

27.1

2005

25.4

2015

16.5

2025

17.8

2005

38.4

2015

43.7

2025

51.3

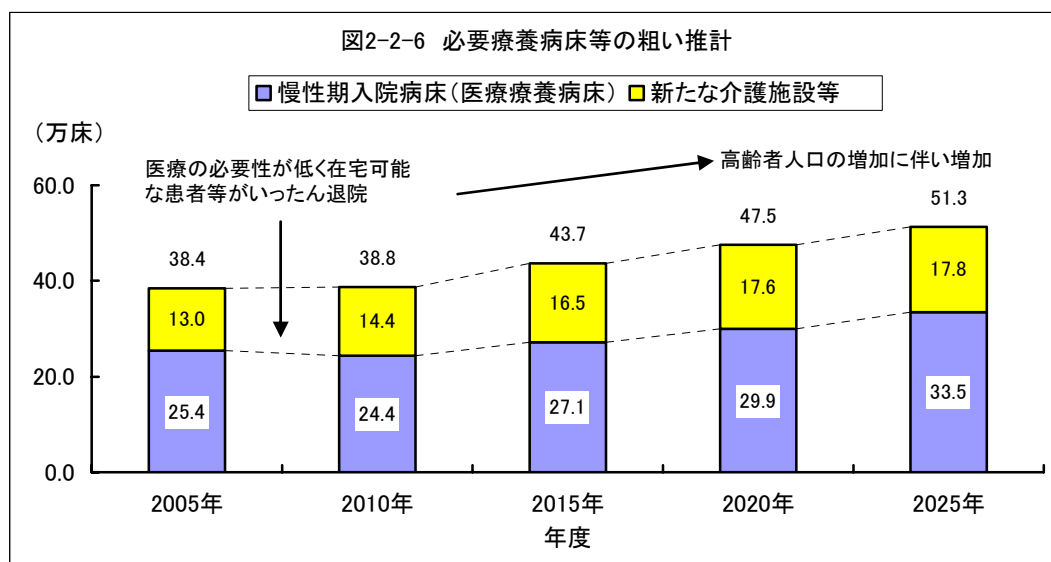


表2-2-5 必要療養病床等の粗い推計

1. 必要慢性期入院病床（現在の医療療養病床）数の粗い推計

(1) 現状の医療療養病床のうち医療療養病床として存続が必要なもの

		2005年度	2010年度	2015年度	2020年度	2025年度	備考
人口 (千人)	0～74歳	116,122	112,954	108,978	103,998	97,603	
	75歳以上	11,646	14,222	16,452	18,737	21,667	
入院受療率(人 ／人口10万対)	0～74歳	59.9	40.0	40.0	40.0	40.0	66.8%までしか減 らない前提
	75歳以上	1,414.2	944.8	944.8	944.8	944.8	
患者数 (千人)	0～74歳	69.5	45.2	43.6	41.6	39.0	人口×入院受療率
	75歳以上	164.7	134.4	155.4	177.0	204.7	
	計	234.2	179.5	199.0	218.6	243.7	
病床利用率		—	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	
必要病床数*1) (千床)	0～74歳	75.4	47.5	45.9	43.8	41.1	
	75歳以上	178.6	141.4	163.6	186.3	215.5	
	計①	254.0	189.0	209.5	230.1	256.6	

(2) 現状の介護療養病床のうち医療療養病床への移行が必要なもの

		2005年度	2010年度	2015年度	2020年度	2025年度	備考
人口 (千人)	0～74歳	116,122	112,954	108,978	103,998	97,603	
	75歳以上	11,646	14,222	16,452	18,737	21,667	
入院受療率(人 ／人口10万対)	0～74歳	14.8	5.7	5.7	5.7	5.7	38.7%までしか減 らない前提
	75歳以上	825.2	319.3	319.3	319.3	319.3	
患者数 (千人)	0～74歳	17.2	6.5	6.2	6.0	5.6	人口×入院受療率
	75歳以上	96.1	45.4	52.5	59.8	69.2	
	計	113.3	51.9	58.8	65.8	74.8	
病床利用率		—	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	
必要病床数*1) (千床)	0～74歳	19.7	6.8	6.6	6.3	5.9	
	75歳以上	110.2	47.8	55.3	63.0	72.8	
	計②	129.9	54.6	61.9	69.3	78.7	

		2005年度	2010年度	2015年度	2020年度	2025年度	備考
必要病床数計①+②		383.9	243.6	271.4	299.4	335.3	

2. 新たな介護施設等に対応する必要があるもの

		2005年度	2010年度	2015年度	2020年度	2025年度	備考
65歳以上人口(千人)		25,769	29,412	33,781	35,899	36,354	
介護施設等(千床または千人)		126.2	144.0	165.4	175.8	178.0	65歳以上人口に比例

↳ 表2-2-2の新たな介護施設等が必要な人数に対応

*厚生労働省「患者調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」から推計。2005年度の人口は、総務省「平成17年 国勢調査」による。四捨五入差があるため、計算と結果が合わない箇所がある。

*1) 2005年度の病床数は実績。年齢階級別内訳は、年齢階級別患者数で按分した。

29)

29)

7

1

16.3

2006 10

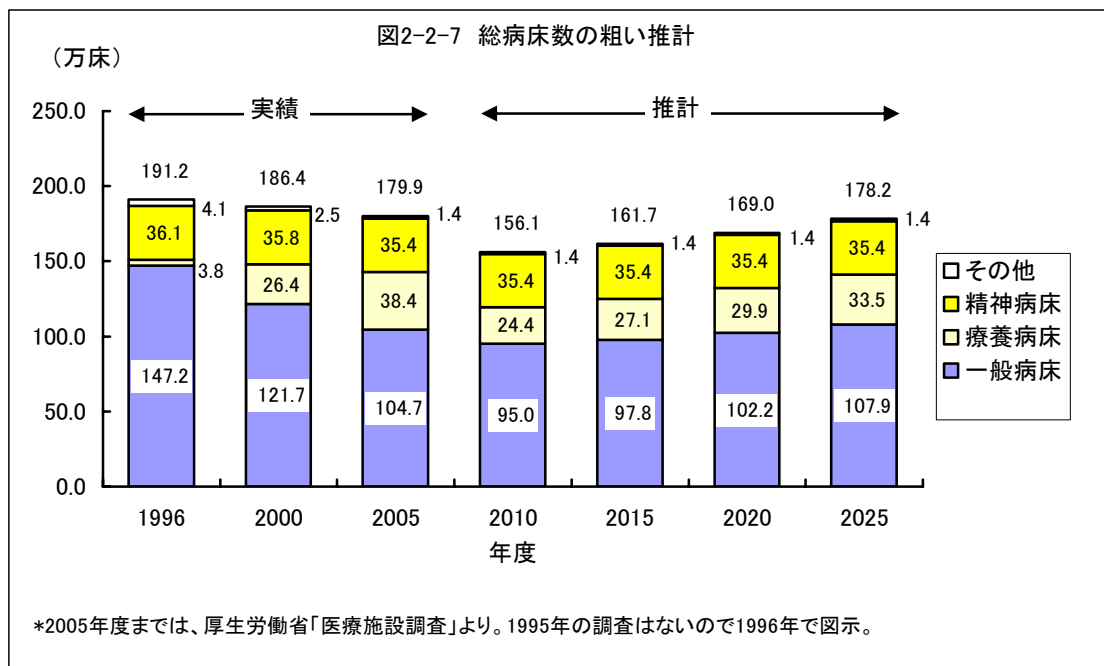
30.9

100

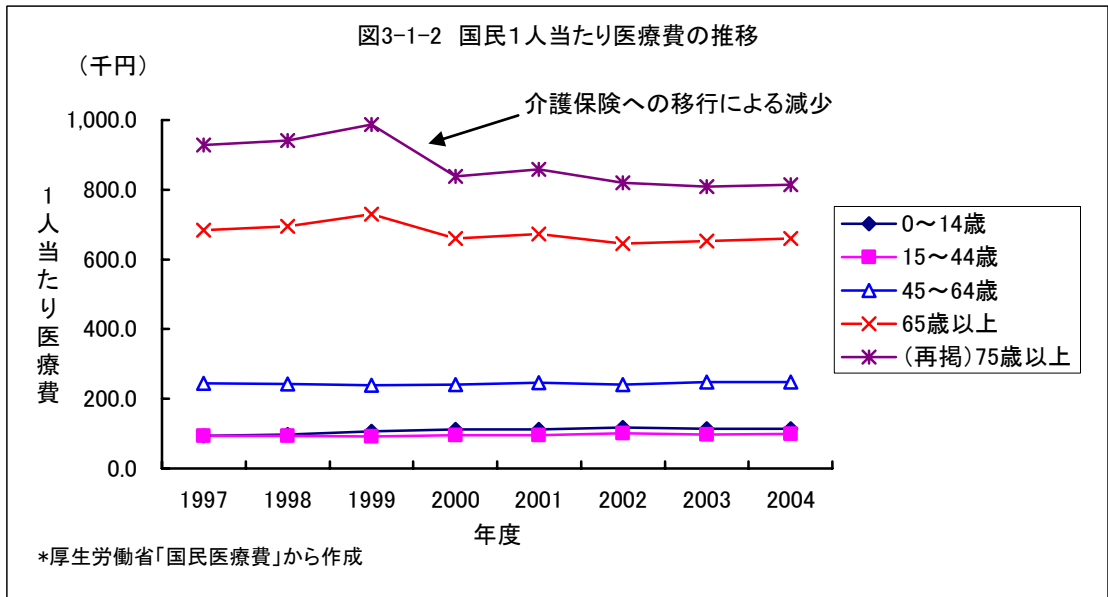
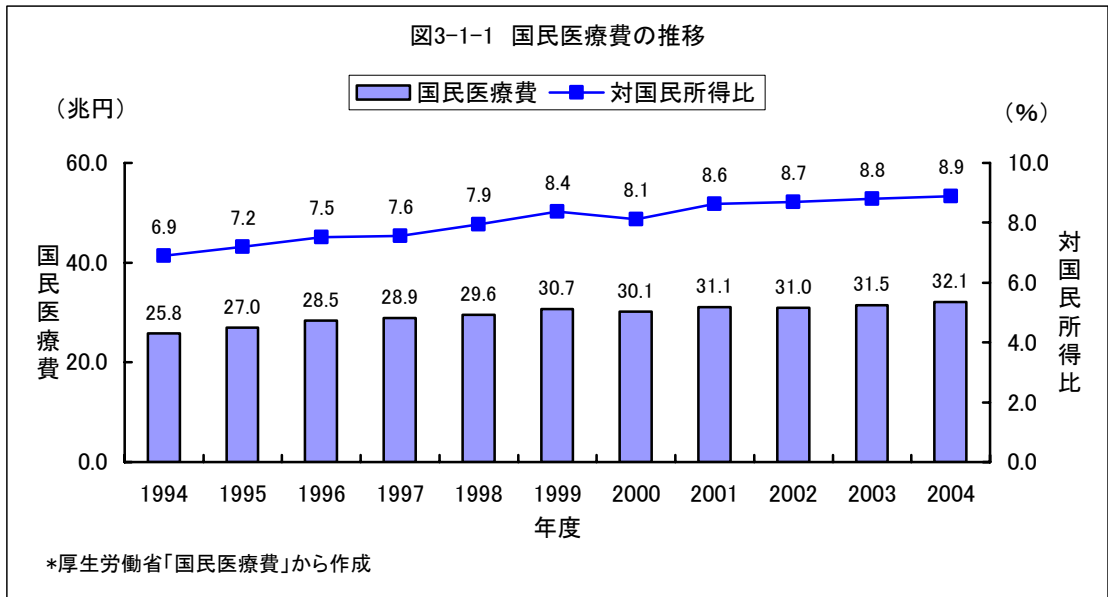
2006

12.3

2010 156.1 2005 2010
 2015
 2025 178.2
 2025 161.7



2004		32.1		0.6		
	1				2000	
		2001	31.1	2004	32.1	1
		3-1-1				
45 64					0 14	15 44
2000	5			2004		
		0 14	0.4	15 44	1.2	3-1-2



2006 10

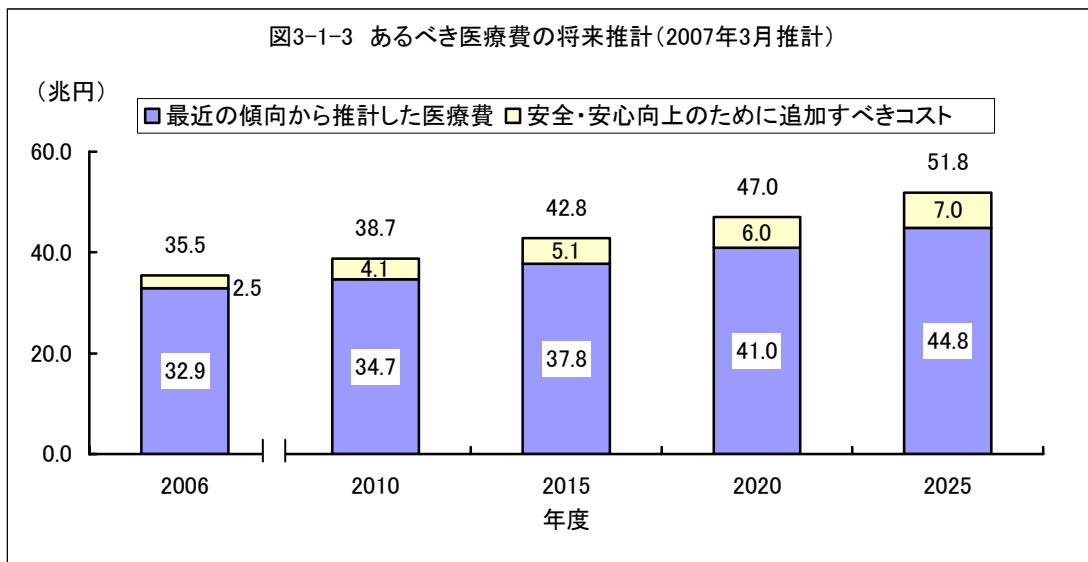
2015

42.8

2025

51.8

3-1-3



2006	4	10			168.8
		817.2	33)		
					0.9
1.0		3-1-1		2015	
		183.6		897.6	3-1-2
	2015			20.0	14.8
		3-1-2			34.8

表3-1-2 1人当たり医療保険医療費の推計

		2006年度	2010年度	2015年度	2020年度	2025年度
1人当たり医療保険 医療費(千円)*1)	一般	168.8	175.2	183.6	192.3	201.5
	後期高齢者	817.2	852.0	897.6	945.6	996.2
人口(百万人)*3)	一般(0~74歳)	113.9	113.0	109.0	104.0	97.6
	後期高齢者(75歳以上)*2)	13.6	14.2	16.5	18.7	21.7
医療保険医療費 (兆円)	一般(0~74歳)	19.2	19.8	20.0	20.0	19.7
	後期高齢者(75歳以上)	11.1	12.1	14.8	17.7	21.6
	計	30.3	31.9	34.8	37.7	41.3

*1)2006年は4~10月実績を年換算した。2006年10月には老人保健の受給対象年齢が75歳となっているので、後期高齢者部分は老人保健のデータを用いた。

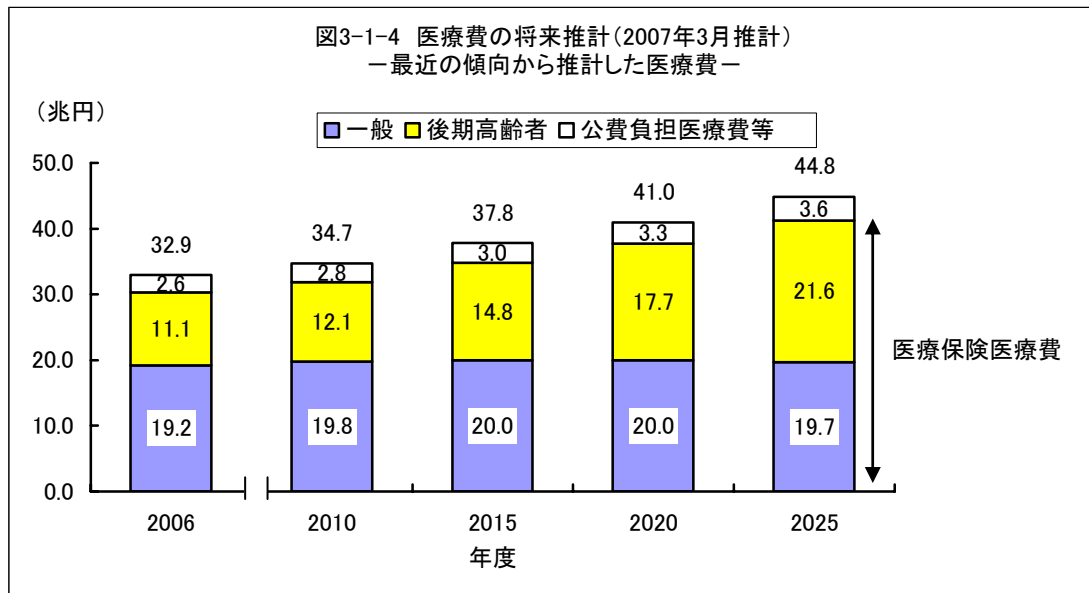
*2)2006年度の75歳以上人口の欄は、メディアスの老人保健データから逆算した老人保健の受給者数

*3)2010年度以降の人口は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口-平成18年12月推計-」より

7.9

2004 34)

37.8 20.0 14.8 3.0 2025 44.8 3-1-4 2015



34)

2006 10

2004

2004

2003 12

100 1

10

100 4,292

1 42.9 3-1-3

263.2 ³⁵⁾ 1 1,297 42.9

× 263.2 2004

32.1 3.5

3.5

³⁵⁾

17

2006 11

表3-1-3 医療安全従事者を配置するためのコスト試算

1. 推進体制のコスト(従事者100人当たり)

職種	医療安全推進責任者	医療安全推進委員会
人数	1人	10人(委員のみ)
専任or兼任	専任	兼任
コストの種類	・給与費,法定福利費等 ・研修費	・残業手当 ・研修費
コスト計算	・給与費,法定福利費等 800万円×1人 = 800万円 ・研修費(年2回) 10万円×2回 = 20万円 計 820万円	・残業手当(委員のみ) 3,000円×2時間×10人×1回×12ヶ月 = 72.0万円 ・研修費(年2回・全職員) 2万円×100人×2回 = 400万円 計 472万円
①小計	1,292万円	

2. 時間増加のコスト(従事者100人当たり)

職種	一般職員
人数	(職員数の5%増加)5人
専任or兼任	医師・看護師等の常勤職員
コストの種類	・給与費,法定福利費等
コスト計算	・給与費,法定福利費等 600万円×5人 = 3,000万円 計 3,000万円
②小計	3,000万円

3. コスト合計(全国)

コスト合計 (①+②)	医療費換算
4,292万円/100人 (42.9万円/1人)	42.9万円×263.2万人 ^{*1)} ≒1兆1,297億円

*1)厚生労働省「平成17年(2005)医療施設(静態・動態)調査・病院報告の概況」より

46.1 ³⁷⁾ ³⁶⁾ 3-1-4 2006 5 52.3

表3-1-4 経済前提

* いずれも名目		2006 年度	2007 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012年度 以降
物価上昇率	並(Aケース)	0.5%	1.1%	1.6%	1.9%	2.1%	2.2%	1.0%
	低目(Bケース)	0.5%	1.1%	1.5%	1.8%	1.9%	1.8%	1.0%
賃金上昇率	並(Aケース)	2.0%	2.7%	3.1%	3.4%	3.2%	3.2%	2.1%
	低目(Bケース)	2.0%	2.1%	2.3%	2.5%	2.2%	2.2%	1.8%
運用利回り	並(Aケース)	1.9%	2.6%	3.1%	3.5%	3.9%	4.1%	3.2%
	低目(Bケース)	1.9%	2.5%	3.0%	3.5%	3.8%	3.9%	3.1%
国民所得の伸び率	並(Aケース)	2.0%	2.5%	2.9%	3.1%	3.1%	3.2%	1.6%
	低目(Bケース)	2.0%	1.9%	2.1%	2.2%	2.1%	2.2%	1.3%

*出所：厚生労働省「社会保障の給付と負担の見通し—平成18年5月—」

36) 2006 2.0 2007 2.3 2008 2.7 2004 2007 2 2006 0.0 2007 2.5 2008 3.0 2011 4.1 2007 37) 15 17 6

3-1-5

38)

39)

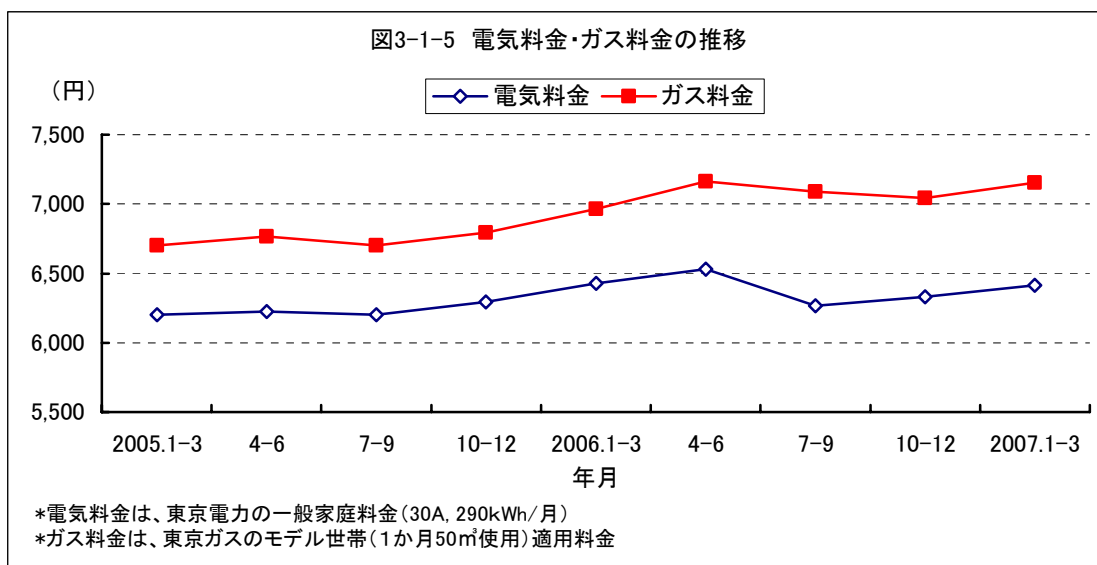
3

40)

41)

42)

3.0



38)

, 2002 6 <http://www5.cao.go.jp/seikatsu/2002/0625butsuan/kihonken01.html>

39)

<http://www5.cao.go.jp/seikatsu/2002/0625butsuan/kihonken02.html>

40)

No.50,

2006 4

41)

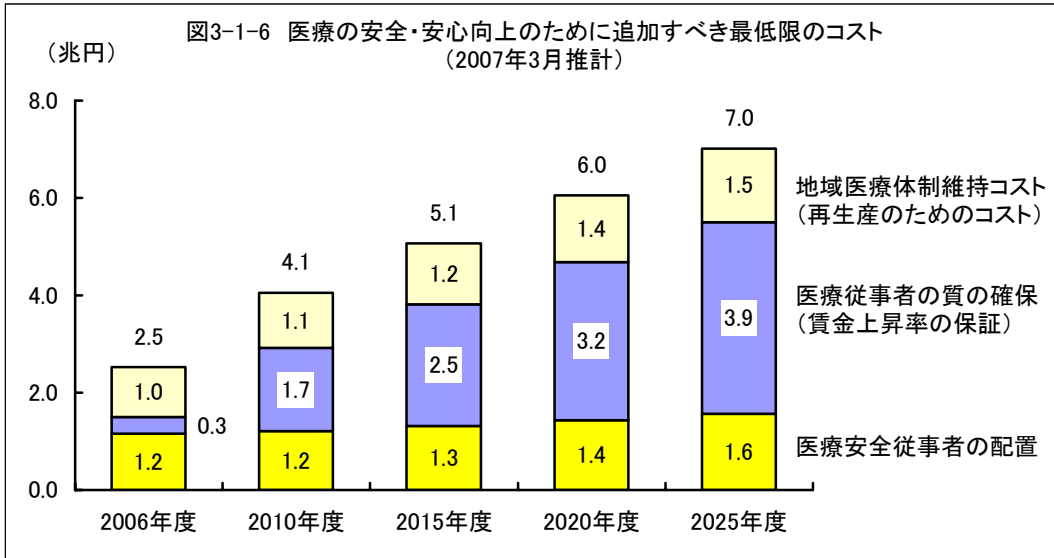
42)

2,833

2,844

17 6

3-1-6



43)

65	1	40	64
2			
1	2	2004	
		65	65
65			
2000		2004	65
		3-1-5	2
			3
5			
65			
	2006	5	10
	3-1-5	2006	65
			1
			232.3
			4
			9

表3-1-5 介護費の推移

	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
介護費(億円)	36,273	45,919	51,929	56,891	62,025	62,957	61,408
伸び率	—	26.6%	13.1%	9.6%	9.0%	1.5%	-2.5%
65歳以上1人当たり 介護費(千円)	164.6	200.8	219.8	234.0	249.3	244.3	232.3
伸び率	—	22.0%	9.4%	6.5%	6.5%	-2.0%	-4.9%

* 2000年度～2004年度は厚生労働省「介護保険事業状況報告」(平成12年度～平成16年度)、2005年度以降は厚生労働省「介護給付費実態調査月報」(平成17年5月審査分～平成18年10月審査分)から費用額(給付額ではない)

* 2006年度は、10月審査分までを年換算して示した(介護予防を含む)

65

65

65

2015	3	10.2
5	12.2	3-1-7 3-1-6
2004	6.3	2005 6.8
2006	7.1	
44)	2004 6.2	2005 6.3

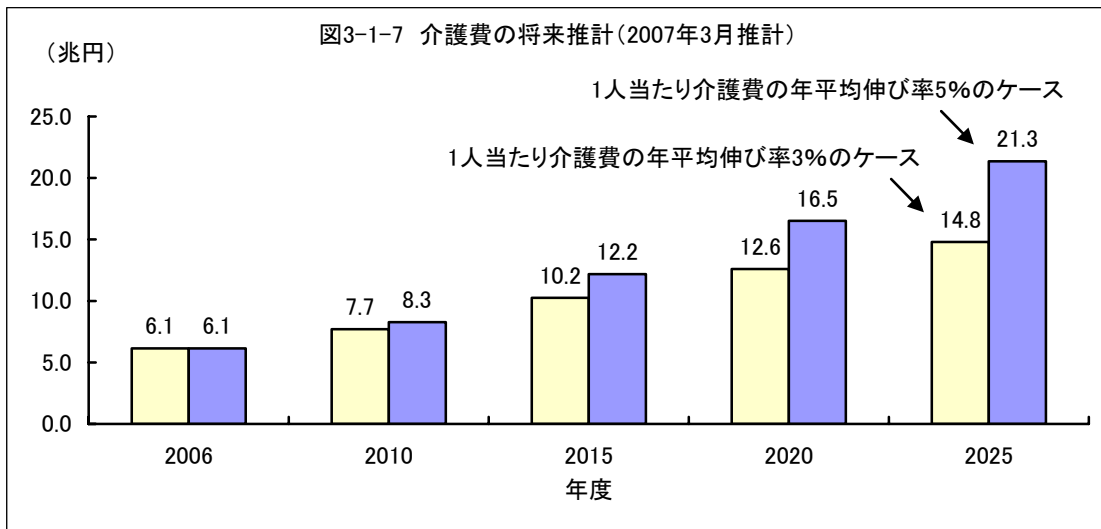


表3-1-6 介護費の将来見通し

1人当たり伸び率年3.0%のケース (兆円)					
	2006年	2010年	2015年	2020年	2025年
65歳以上1人当たり介護費(千円)	232.3	261.4	303.0	351.3	407.3
65歳以上人口(百万人)	26.4	29.4	33.8	35.9	36.4
介護費(兆円)	6.1	7.7	10.2	12.6	14.8

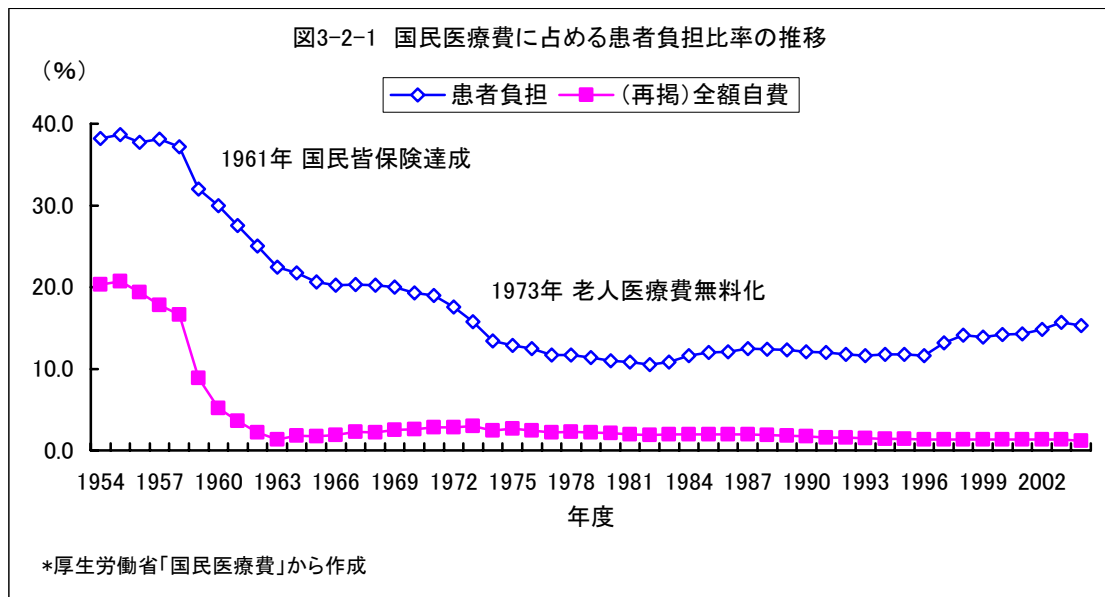
1人当たり伸び率年5.0%のケース (兆円)					
	2006年	2010年	2015年	2020年	2025年
65歳以上1人当たり介護費(千円)	232.3	282.3	360.3	459.8	586.9
65歳以上人口(百万人)	26.4	29.4	33.8	35.9	36.4
介護費(兆円)	6.1	8.3	12.2	16.5	21.3

*将来推計人口は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口—平成18年12月推計—」より

44)

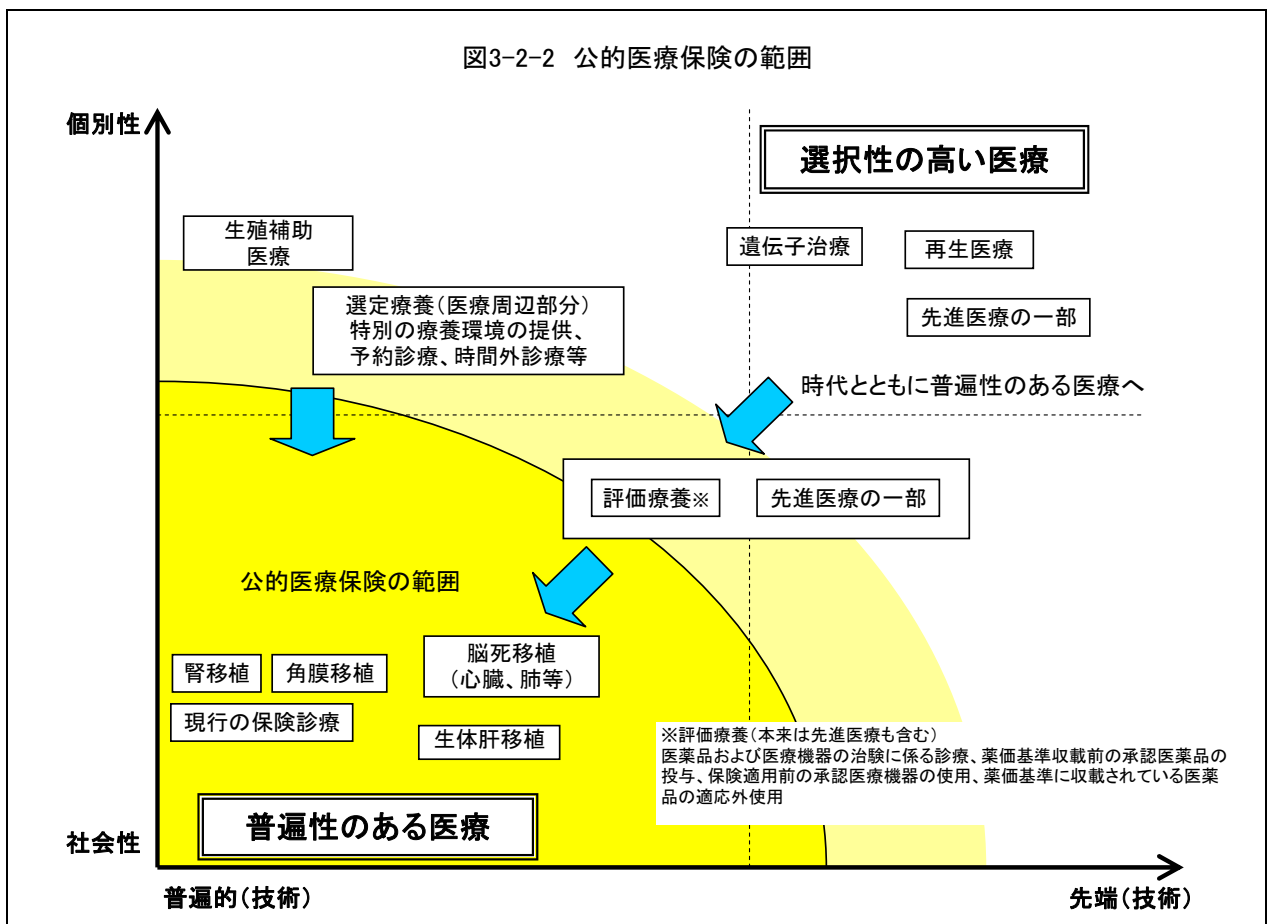
3 <http://www.mhlw.go.jp/topics/kaigo/topics/0603/index.html>

1961
 1982 ⁴⁵⁾ 10.5 3-2-1 2004
 15.3
 2003 1.3 2004 1.2 1996
 46)



⁴⁵⁾ 1960 1973
 1983

⁴⁶⁾ 2004 1.8 1.2 1.0 1.5
 0.1%



2008 4

2008

75

47)

5

4

1

1/2

2008

2008 4

47)

14

75

75

9

2008 4

5

1

図3-2-3 後期高齢者医療制度 財源構成の比較

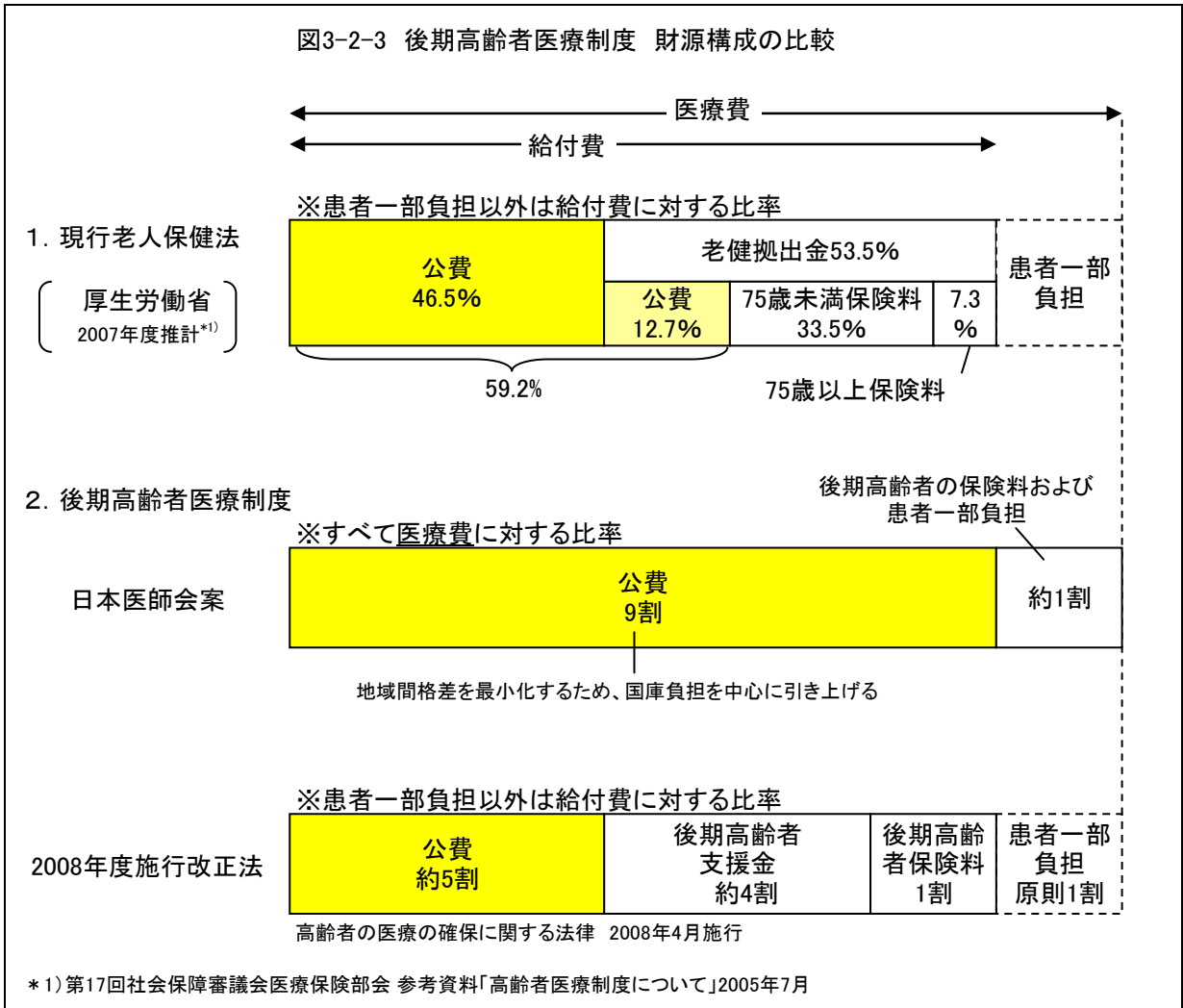


表3-2-1 後期高齢者医療制度の比較

	日本医師会案	高齢者の医療の確保に関する法律 (2008年4月施行)
対象	75歳以上	75歳以上
保険者	都道府県単位	全市町村が加入する都道府県単位の 広域連合
財源	医療費に対して ・公費9割 ・後期高齢者の保険料および 患者一部負担1割	給付費(医療費-患者一部負担)に対して ・公費約5割 ・後期高齢者支援金約4割 ・後期高齢者の保険料1割

4.5

49)

3-2-4

2009

5

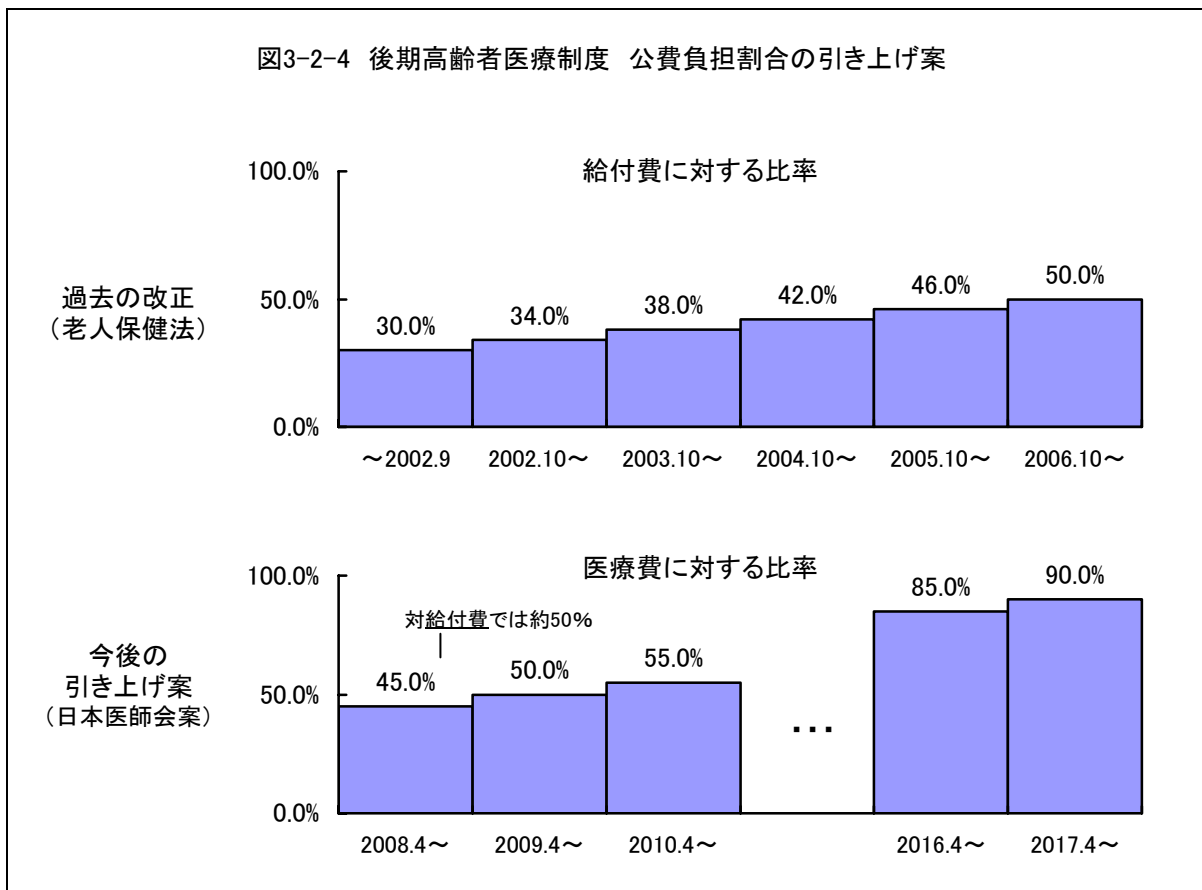
2017

9

2008

4 1

1



48)

5

49)

2006 10 5

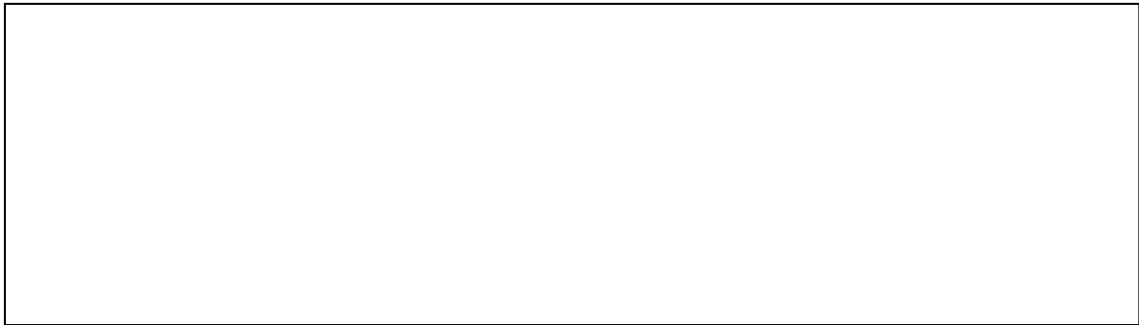
2002 9 3

4

2006 9

50)

51)



50) <http://www.mhlw.go.jp/public/bosyuu/iken/dl/p0915-2a.pdf>

51) 6

2007 2 , <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/02/dl/s0205-8a.pdf>

1997 1 2 2003 3

5.5 1997 9 1 2

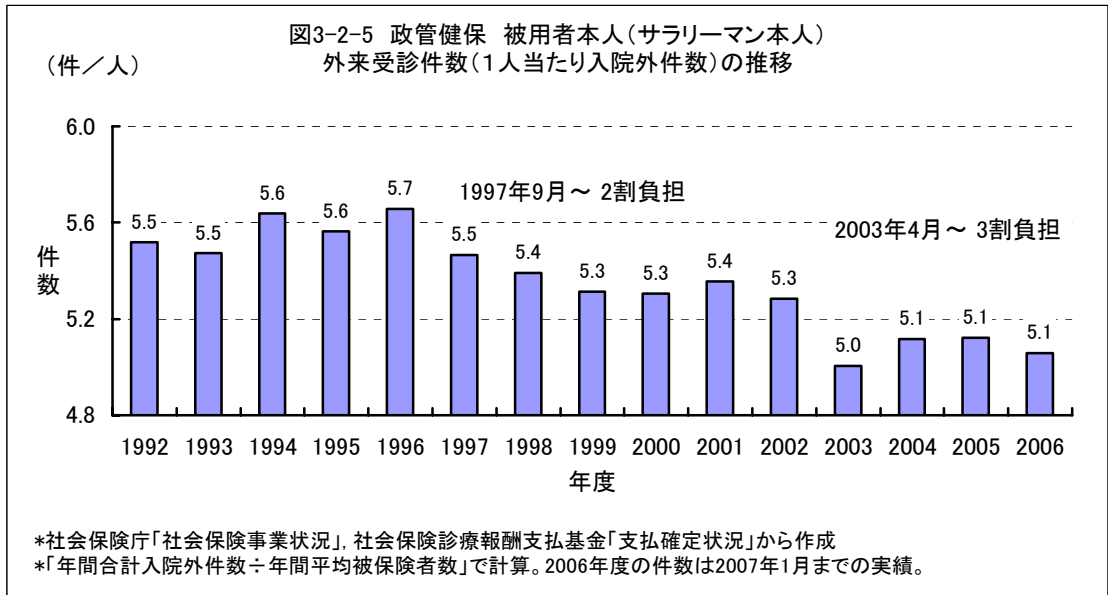
5.5

2003 4 3 5.0

5.1

3-2-5

3 2



2015

9

1

0.5

0.5

9.5

7

8

2015

37.5

2025

46.0

3-2-6

3-2-3

2008

2008

2008

4

2015

37

2025

48

⁵²⁾ 2015

2025

⁵²⁾

表3-2-2 2015年度の医療費および給付費見通しの比較

		医療費	給付費	備考
日本医師会案	一般	22.7	18.1	一般8割給付
	後期高齢者	16.7	15.9	後期高齢者9.5割給付
	公費負担医療費等	3.4	3.4	全額給付と仮置き(全額自費を含むが、厚生労働省の医療費推計における全額自費の取扱が不明なため)
	計	42.8	37.5	
2008年施行 改正法 ^{*1)}	一般	24.5	19.1	計－公費負担医療費等－後期高齢者
	後期高齢者	16	14.4	9割給付 ^{*2)}
	公費負担医療費等	3.5	3.5	日本医師会案と同じ構成比で計算
	計	44	37	(厚生労働省は小数点以下を示していない)

*1)厚生労働省「国民医療費、医療給付費、老人医療費の将来見通し(医療制度改革ベース、平成18年1月)」より。網掛け部分が厚生労働省公表値。その他は推計した。

*2)現役なみ所得がある場合は7割給付であるが、低所得者の保険料軽減措置もあるため、平均して9割給付と計算。厚生労働省も「健康保険法等の一部を改正する法律案の概要について」(2006年1月)14頁で9割給付で計算し

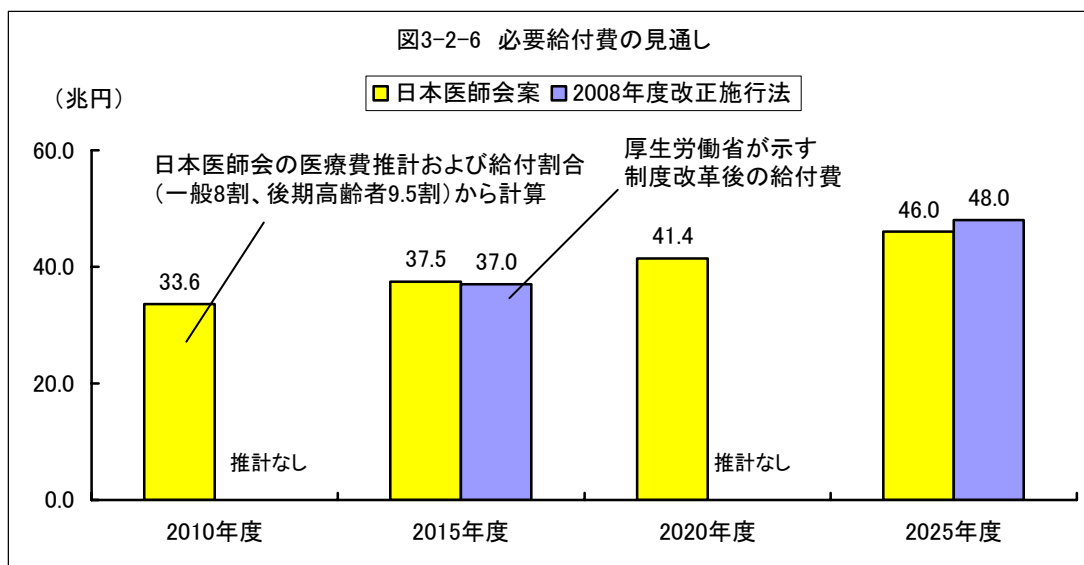


表3-2-3 医療保険給付費の粗い推計

医療費(あるべき医療費) (兆円)

	2006年度	2010年度	2015年度	2020年度	2025年度
一般	20.7	22.1	22.7	23.0	22.7
後期高齢者	12.0	13.5	16.7	20.3	25.0
小計	32.7	35.6	39.4	43.3	47.7
公費負担医療費等	2.8	3.1	3.4	3.7	4.1
医療費計	35.5	38.7	42.8	47.0	51.8

*一般・後期高齢者の内訳は現状の延伸上の医療保険医療費から按分

給付割合：一般8割、高齢者9.5割
(公費負担医療費等は全額給付)と仮置

給付費 (兆円)

	2006年度	2010年度	2015年度	2020年度	2025年度
一般		17.7	18.1	18.4	18.2
後期高齢者		12.9	15.9	19.3	23.7
医療保険分		30.5	34.1	37.7	41.9
公費負担医療費等		3.1	3.4	3.7	4.1
給付費計		33.6	37.5	41.4	46.0

参考：厚生労働省2006年1月推計

給付費 (兆円)

	2006年度	2010年度	2015年度	2020年度	2025年度
給付費計	—	—	37.0	—	48.0

2015

3 2.

9

2015

15.1

2008

2015

37

3.5

33.5

3-2-2

6

⁵³⁾

13.0

50

16.4

3

5

2015

2008

14.7

15.1

3-2-7,

3-2-4

⁵³⁾

2006

3

2005
31,800

12
42

18

42,600

56

1,000

1

75,400

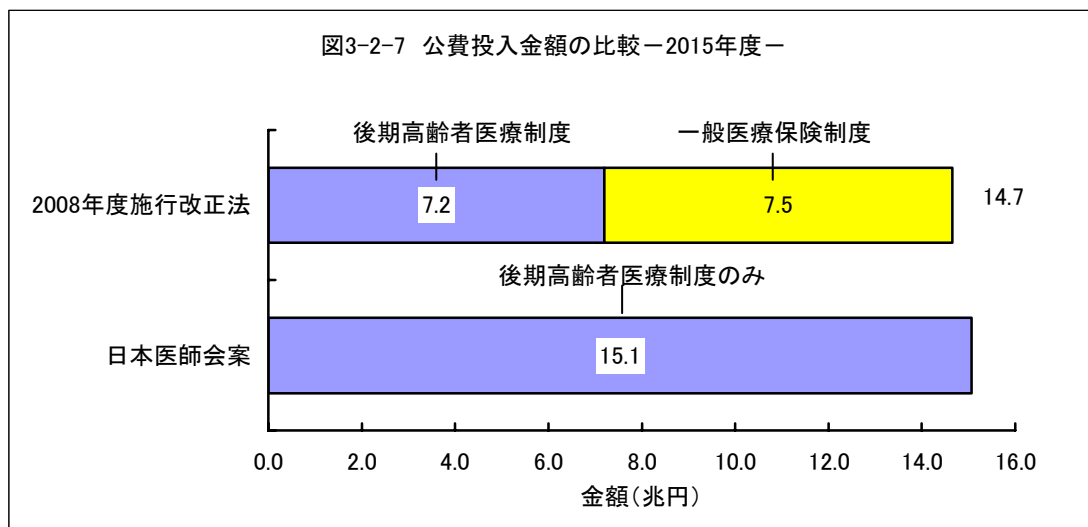


表3-2-4 公費負担金額の粗い推計－2015年度－

日本医師会案(後期高齢者にのみ公費を集中投入) (兆円)

制度	医療費	公費負担	公費負担割合
後期高齢者	16.7	15.1	医療費の9割

2008年度施行改正法 (兆円)

制度	給付費	公費負担	公費負担割合
一般	19.1	7.5	(一般の給付費＋後期高齢者支援金) × 0.3 ^{*1)}
後期高齢者	14.4	7.2	給付費の約5割
計	33.5	14.7	

*1)2006年度予算ベースで3割弱と推計される

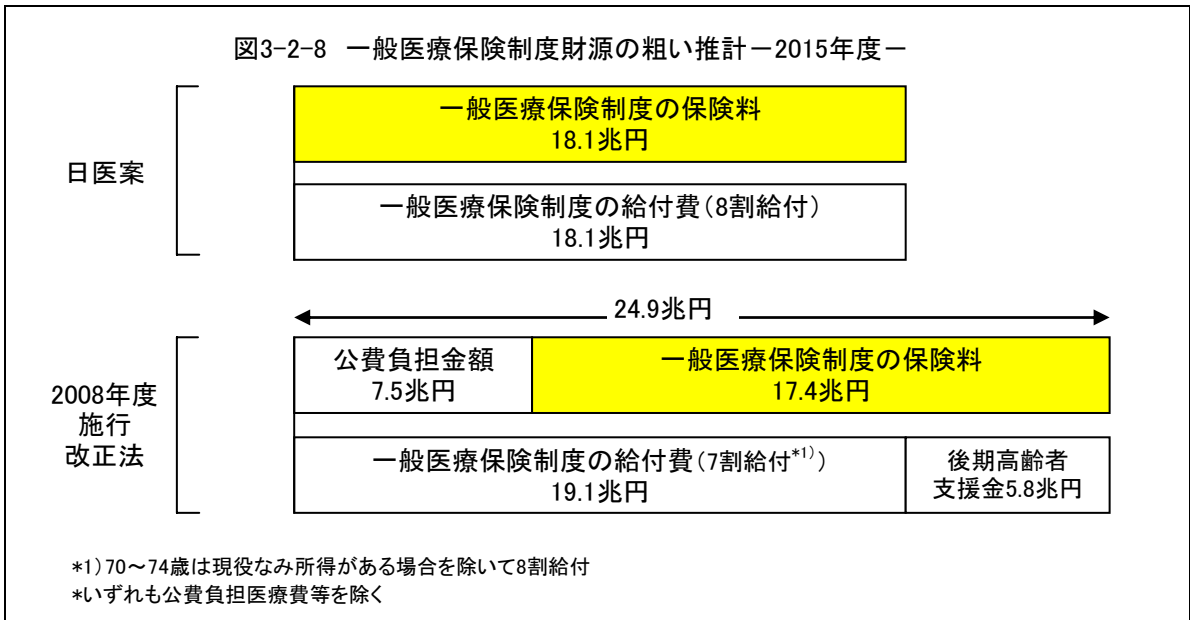
*いずれも公費負担医療費等を除く

*四捨五入差があるため上記の数字から計算しても合致しないところがある

2015

			9	
				2
2015		22.7	18.1	
3-2-2				
2008				
	24.5	19.1	3-2-2	
		5.8		4
		24.9	⁵⁴⁾	
				3 7.5
			17.4	19.1 5.8
	7.5			

図3-2-8 一般医療保険制度財源の粗い推計－2015年度－



54)

18.1

2008

17.4

3-2-5

1,000 82

1,000 74.84

1,000 82

0.9

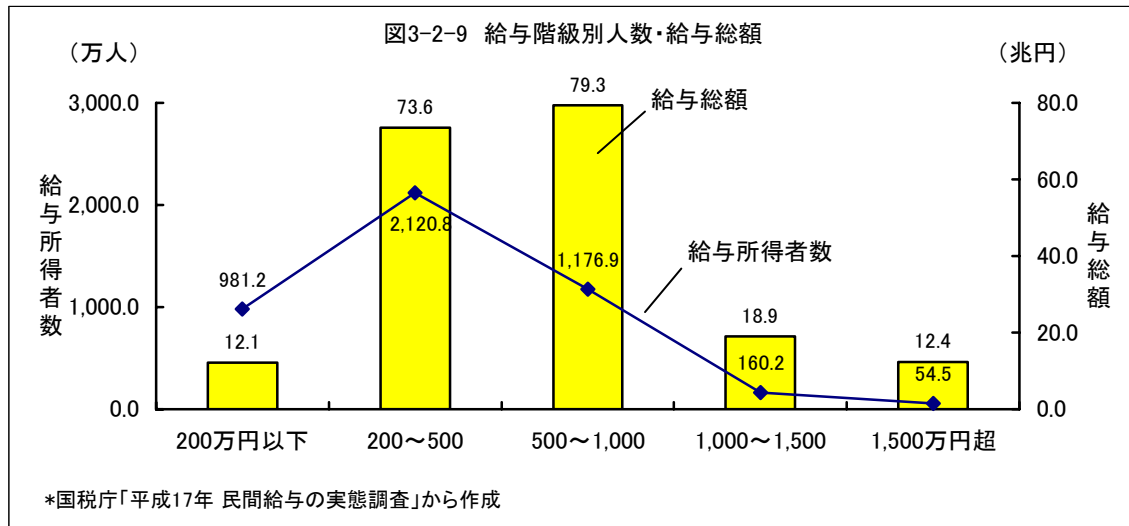
表3-2-5 保険料率の公平化による効果(2004年度実績による試算)

	保険料率 (0/00)	保険料収入(兆円)		財政効果 (兆円)
		2004年度 実績	政管健保のみ 保険料率の時	
政管健保	82.00	6.0	6.0	—
組合健保	74.84	5.8	6.4	0.6
国家公務員共済	63.44	0.5	0.6	0.1
地方公務員共済	73.27	1.3	1.4	0.1
私学教職員共済	66.00	0.2	0.2	0.0
計	—	13.7	14.6	0.9

*出所

社会保険庁「政府管掌健康保険の平成16年度単年度収支決算の概要」
 健康保険組合連合会「平成16年度健保組合決算見込みの概要」
 財務省主計局「平成16年度国家公務員共済組合事業統計年報」
 地方公務員共済組合協議会「平成16年度地方公務員共済組合等事業年報」
 日本私立学校振興・共済事業団「平成16年度私学共済制度事業統計」

	2007	4		117.5	1,410
			121	1,452	
		1,500		54.5	4,493.6
1.2		12.4		196.3	6.3
3-2-9 ⁵⁵⁾			1,452		
		7.9	1,452	× 54.5	
	12.4	4.5			
			1,000	82	
			0.4		
		0.4			



55)

2015

2008

2

2008

2008

2006

2008

3-2-10

2008

17.4

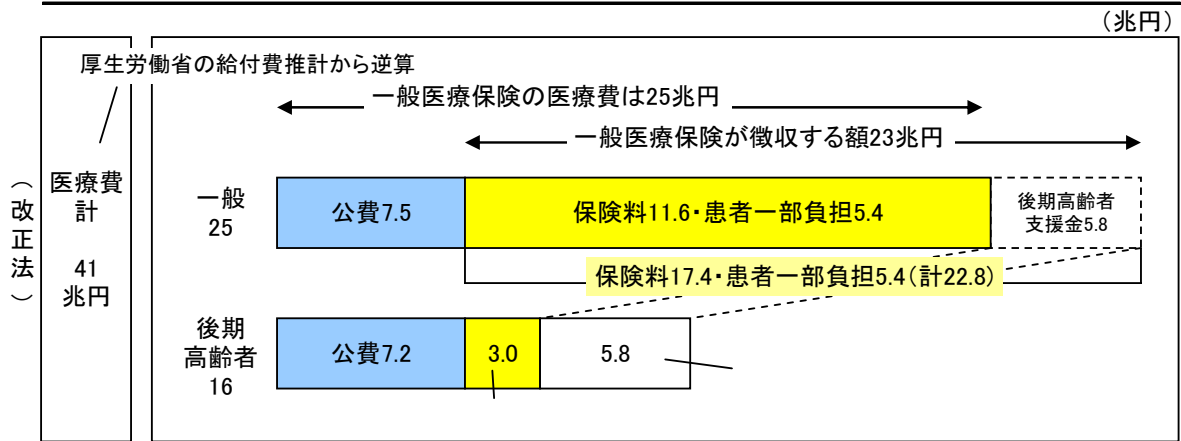
19.1

2008

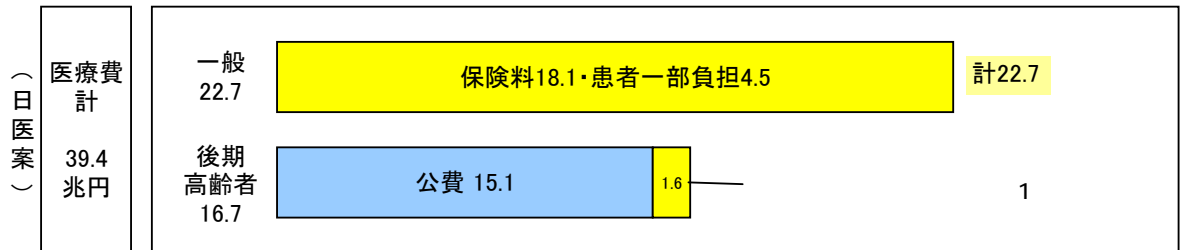
1.7

図3-2-10 一般医療保険制度と後期高齢者医療制度の財源内訳(粗い推計)

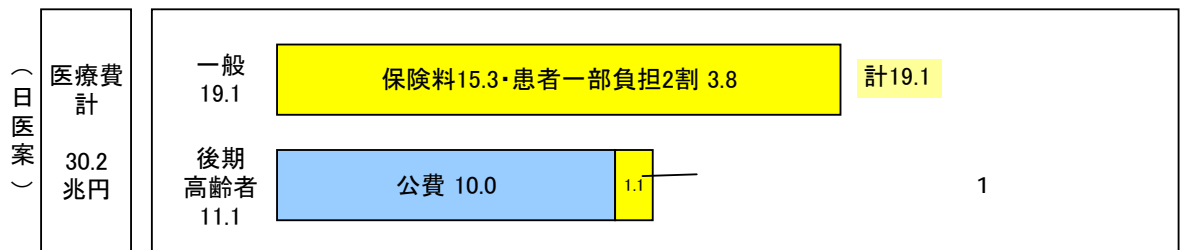
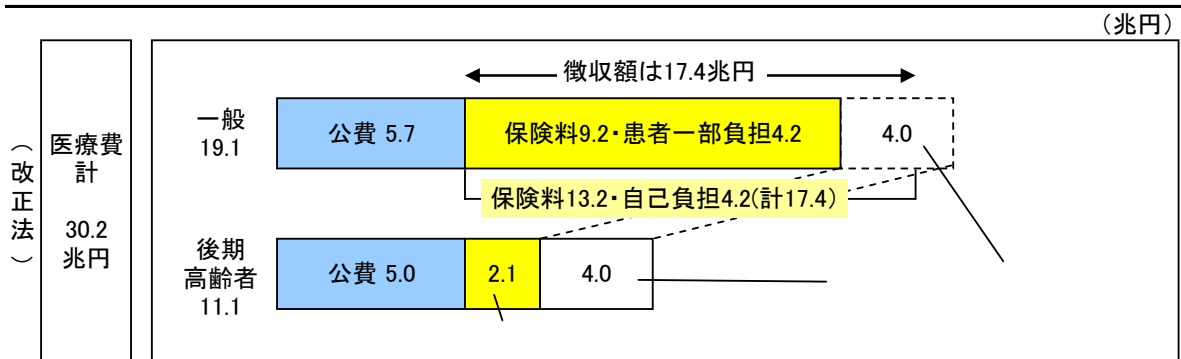
2015年度の姿



厚生労働省は、医療費の小数点以下を示していない



2006年度医療費見込みをもとに推計



*改正法下における患者一部負担割合は一般3割、70～74歳2割、後期高齢者1割、現役のみ所得がある70歳以上3割
 *公負担医療費等を除く
 *四捨五入差があるため内訳と合計が一致しないところがある

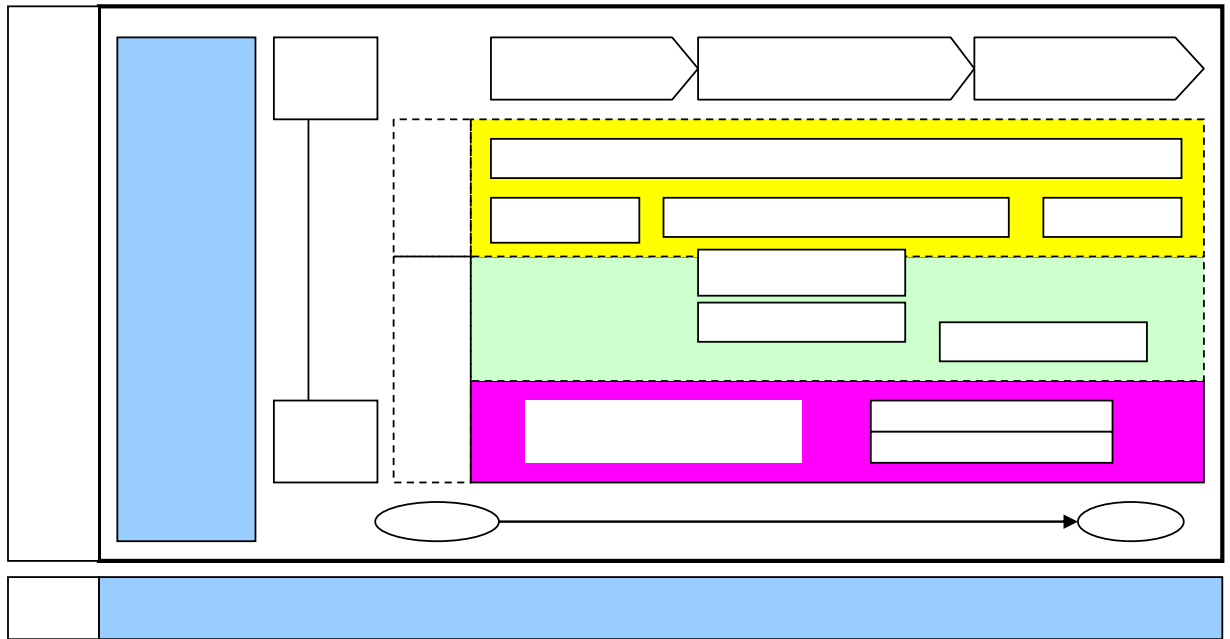
56)

4-1-1

56)

25

図4-1-1 ライフサイクルと安全保障

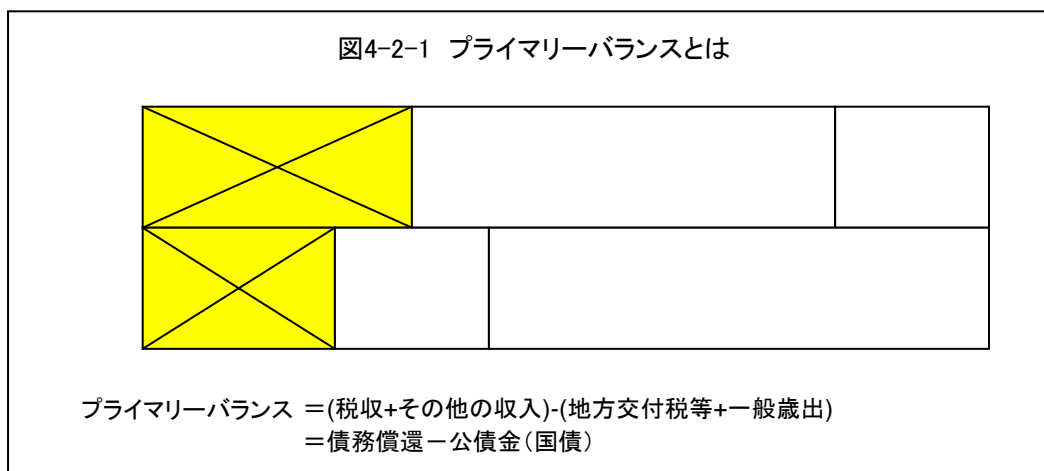


2006 ⁵⁷⁾ 2011

4-2-1

2006 12 832

58)



⁵⁷⁾ 2006 7

<http://www.keizai-shimon.go.jp/cabinet/2006/decision0707.html>

⁵⁸⁾ 6 , 2006 9

http://www.mof.go.jp/jouhou/syukei/sy014_1809.pdf

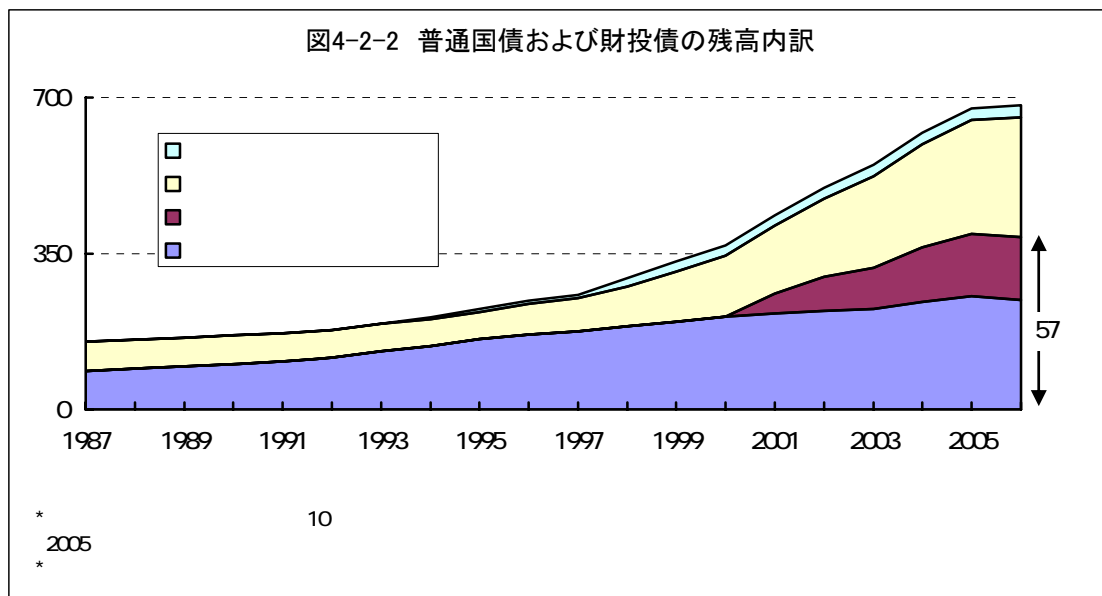
2006

4-2-2

10

61)

1969



2005

139.4

4-2-1

2005

299.6

62)

46.4

59)

10

<http://www.mof.go.jp/jouhou/kokusai/siryou/zandaka02.pdf>

60)

2001

61)

1997

685

10.1

62)

17

5.

3

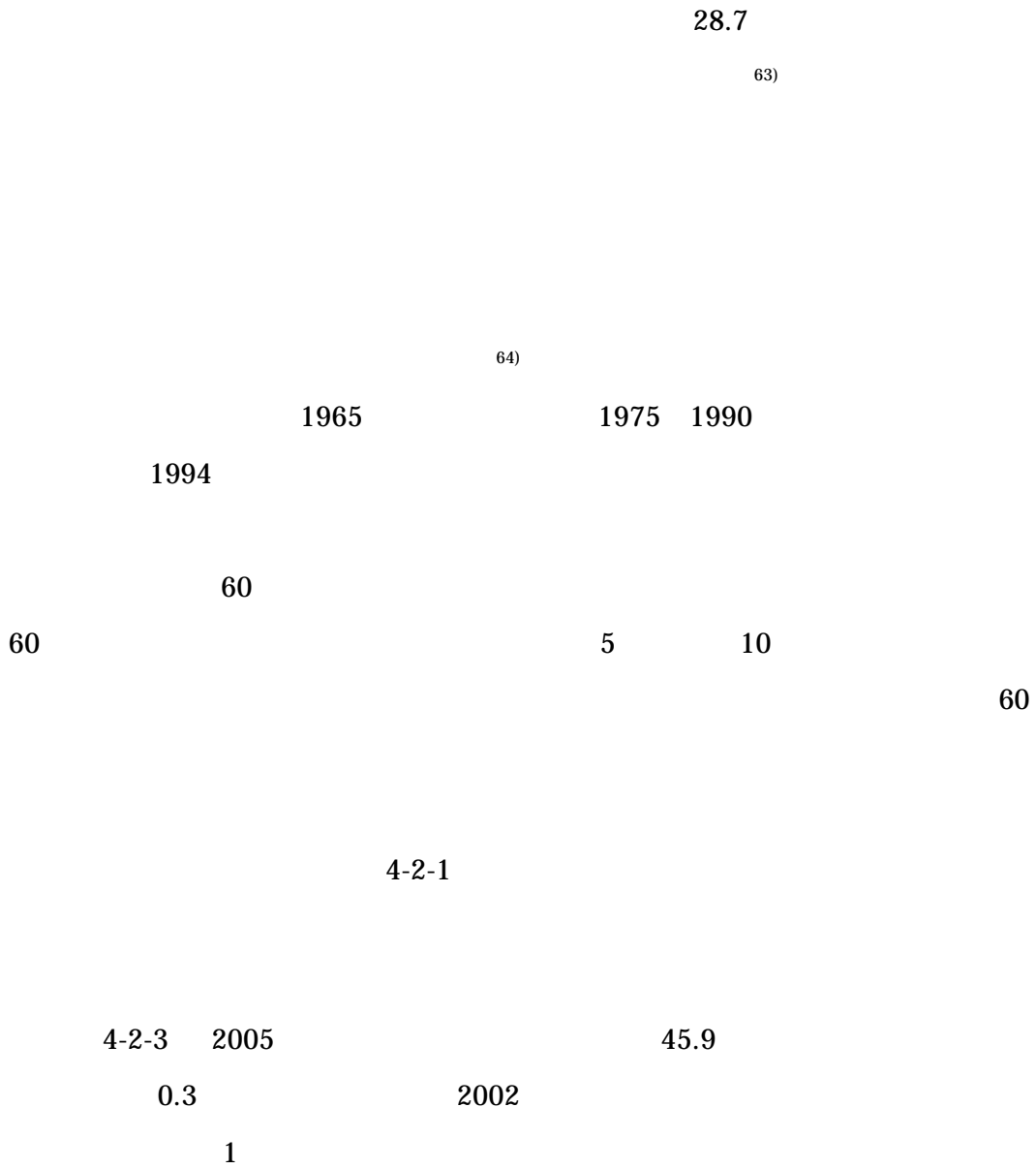


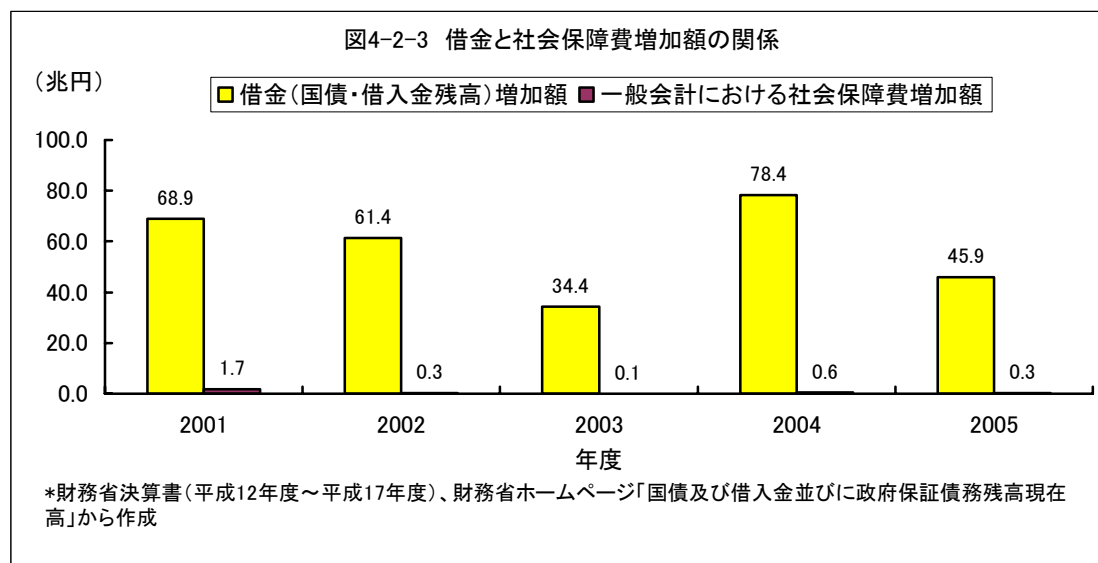
表4-2-1 プライマリーバランスと国債・借入金残高の関係

(兆円)

	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度
税収	47.9	43.8	43.3	45.6	49.1
その他の収入(除国債)	9.0	8.5	7.0	7.8	8.7
①歳入(除国債)	56.9	52.3	50.3	53.4	57.7
②歳出(除債務償還)	69.0	68.1	66.9	67.4	66.8
プライマリーバランス(①-②)	-12.1	-15.8	-16.6	-14.0	-9.1
普通国債	392.4	421.1	457.0	499.0	526.9
財投債	43.8	75.6	91.8	121.6	139.4
借入金その他	171.1	172.1	154.3	161.0	161.2
国債・借入金残高等合計	607.3	668.8	703.1	781.6	827.5
増加額	68.9	61.4	34.4	78.4	45.9
一般歳出における社会保障関係費	19.3	19.6	19.7	20.3	20.6
増加額	1.7	0.3	0.1	0.6	0.3

*財務省決算書(平成12年度～平成17年度)、財務省「国債及び借入金並びに政府保証債務残高現在高」から作成

図4-2-3 借金と社会保障費増加額の関係



4

2

2006

31

2005

541.1

486.7

4-2-2

2005

279.3

232.5

65)

4-2-4

表4-2-2 一般会計および特別会計決算

(兆円)

		2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度
一般会計	歳入	86.9	87.3	85.6	88.9	89.0
	歳出	84.8	83.7	82.4	84.9	85.5
	差引	2.1	3.6	3.2	4.0	3.5
特別会計 (単純合計)	歳入	396.2	399.7	385.8	419.3	452.1
	歳出	363.3	373.9	357.7	376.0	401.2
	差引	32.9	25.8	28.1	43.3	51.0
合計 (単純合計)	歳入	483.1	487.0	471.4	508.2	541.1
	歳出	448.1	457.6	440.1	460.9	486.7
	差引	35.0	29.5	31.3	47.3	54.4
純計	歳入	275.7	267.1	251.7	279.2	279.3
	歳出	248.3	245.4	230.9	233.3	232.5
	差引	27.4	21.7	20.8	45.8	46.9

*2004年度までは、財務省「平成18年度 財政統計」より

*2005年度は国の決算書から推計

65)

図4-2-4 2005年度 連結国家財政の全体像(決算推計)

単位:兆円

一般会計		特別会計(正味)	
歳入	歳出	歳入	歳出
税収 49.1	国債 18.7	国債(一般会計から)18.7	債務償還 (国債・借入金) 及び利子 83.1
	地方交付税等 17.4	地方交付税等 (一般会計から) 17.4	
	社会保障 20.6	一般会計 からの繰入 13.7	
	公共事業 8.4	公債金 28.2	
	文教・科学5.7 防衛4.9	借入金 55.4	
国債 31.3	その他 9.7	借入金 55.4	地方交付税等 20.3
その他8.7		借入金 55.4	財政融資 資金へ 28.2
89.0兆円	85.5兆円	借入金 55.4	国民への給付 47.4
		保険料 36.1 〔年金・医療・ 介護・労働〕	〔年金・医療・ 介護など〕
		その他 70.6 〔前期繰越金 など〕	その他 17.8 〔補助金・人件費 ・経費等〕
		240.2兆円	196.8兆円

・特別会計
 一般会計に繰り出されたもの、
 特別会計間の繰入・繰出(重複
 分) および国債借換、財政融資
 資金利子を除いて表示

一部繰入

* 財務省決算書から一部推計して作成

(連結推計) 歳入279.3兆円 歳出232.5兆円*1

*1 決算書の数字を入力し集計したが、決算書からは重複項目等を完全には拾えないため推計値

*四捨五入差のため合計が一致しないところがある

1

20.6

232.5

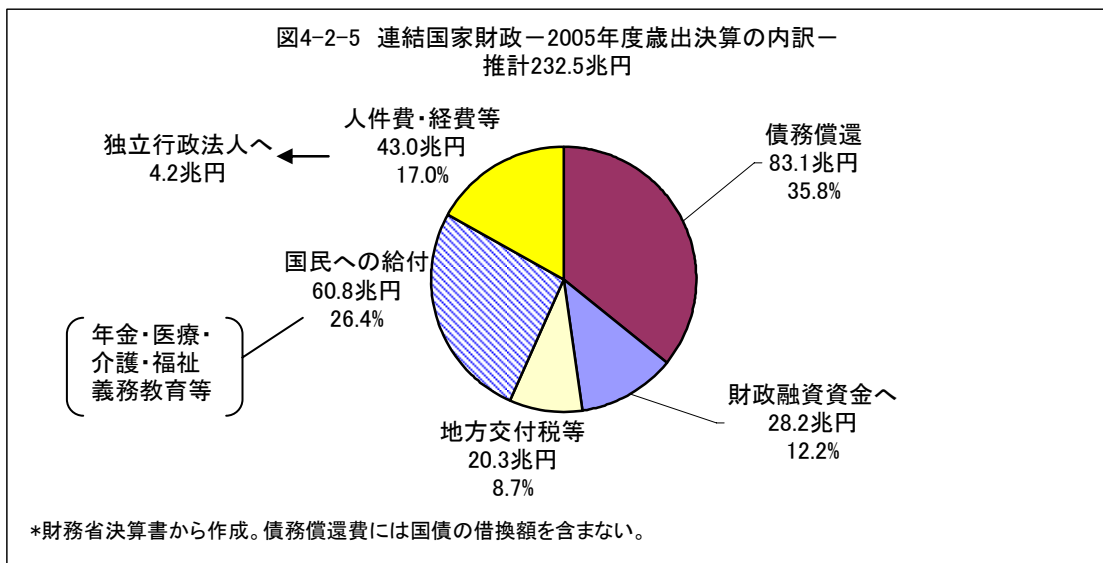
4

2005

4.2

66)

4-2-5



2004

66)

2005

No.138, 2007 1

45.8

67)

2

2005

3.0

1.6

1.3

68)

69)

2005

82.2

2001

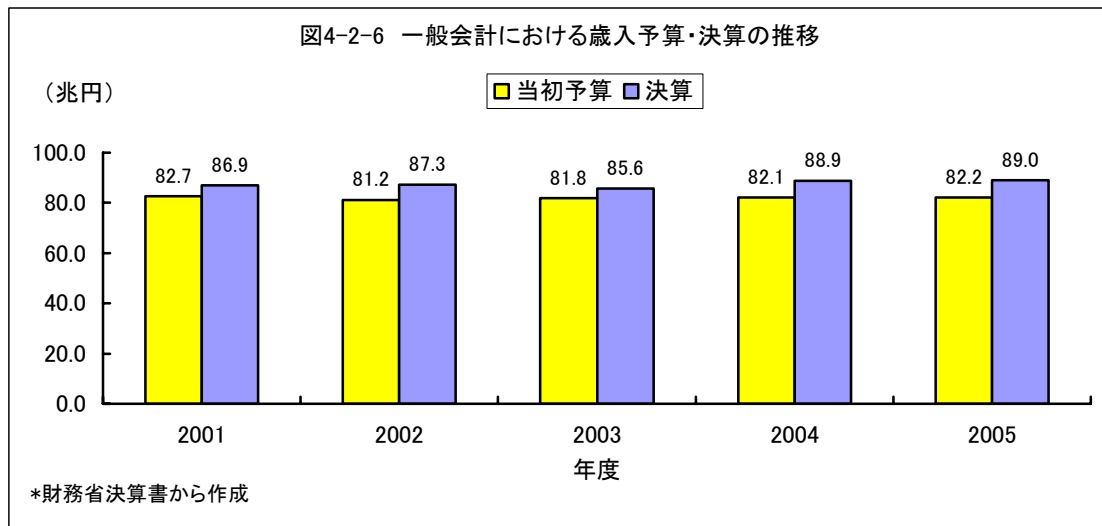
85

2005

89

90

4-2-6



67)

18

221

68)

69)

66.8

4-2-7

4

2003

2

3

2002

10

2005

5,450

70)

2005

141.4

131.4

10.0

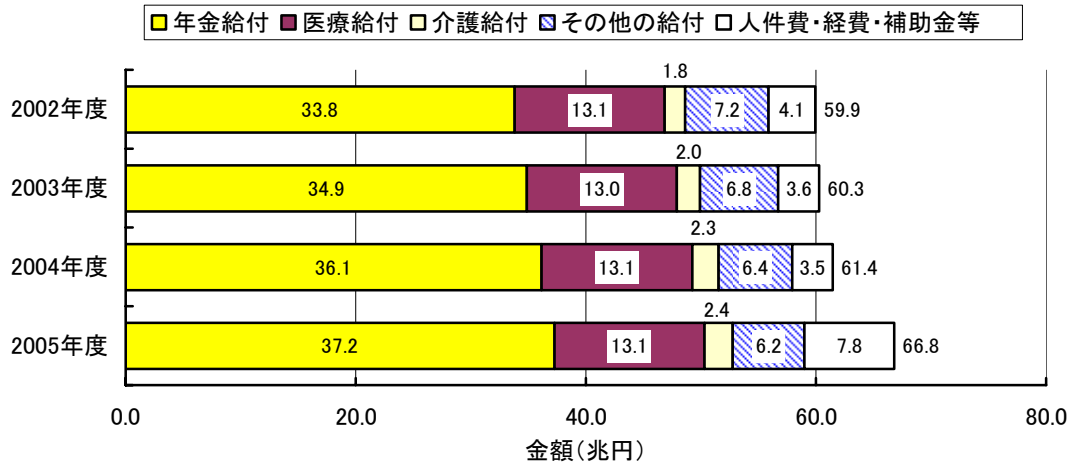
71)

70)

17

71)

図4-2-7 連結社会保障費の内訳推移(推計)



*財務省決算書から作成。2005年度の人件費・経費・補助金等には年金資金運用基金(現年金積立金管理運用独立行政法人)への出資金・交付金4.4兆円を含む。

72)

1997

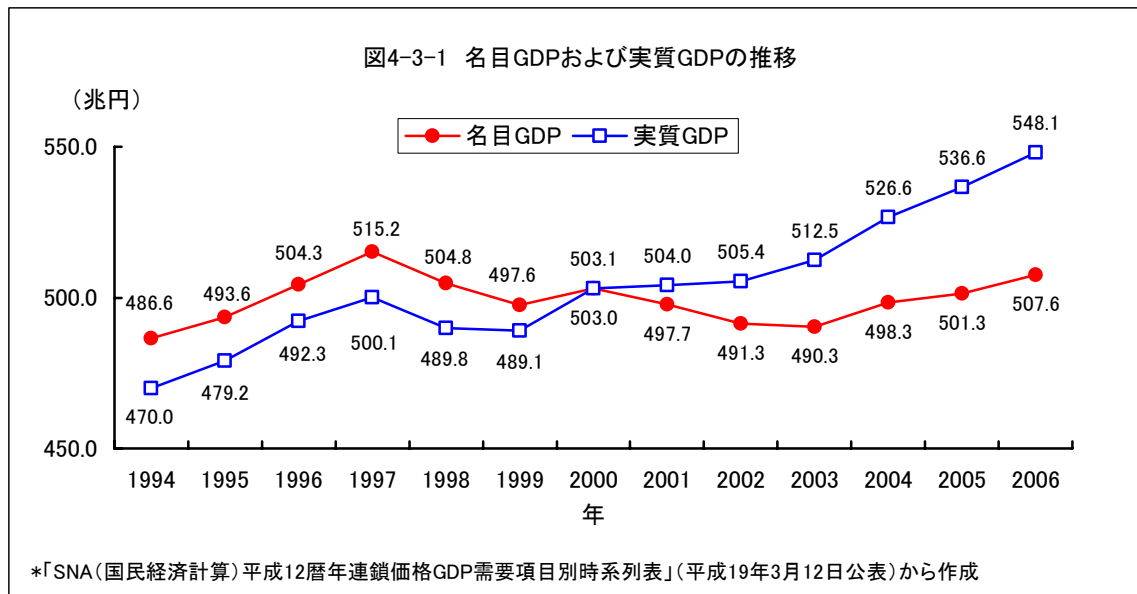
GDP

2004

GDP 2000

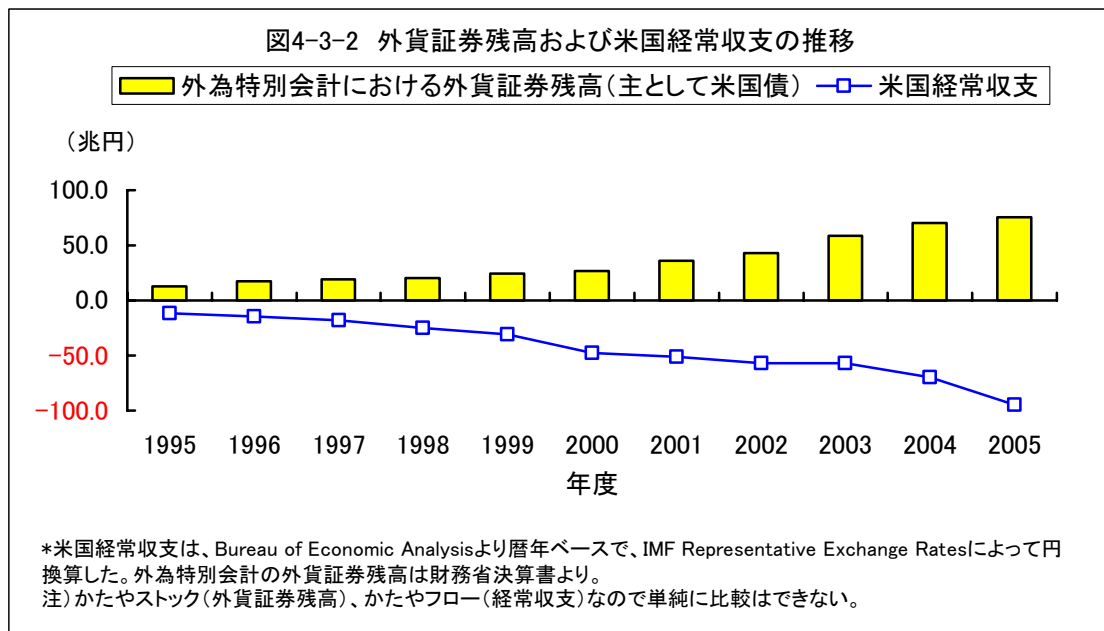
4-3-1

GDP



4-3-2

図4-3-2 外貨証券残高および米国経常収支の推移



73)

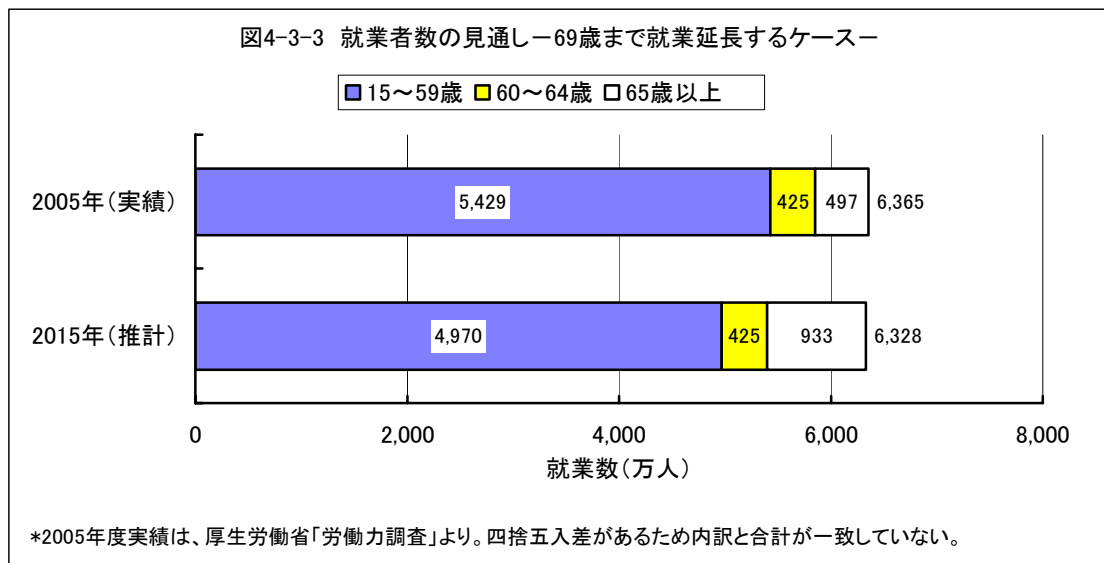
2005 6,365 4-3-3 60 64
 437 60 64 51.0 74)
 65 497 19.3
 16 65 69

73) 1947 1949

74) 17

51.0 10 5 70.5 65 69 46.8 60 64 2015
6,328 2005

2012 65



4-3-1

75)

75)

unpaid work

unpaid work

18

2007 2

表4-3-1 主要国の政府支出の内訳(対名目GDP)(2002年)

(対名目GDP比、単位：%)

	日本	英国	フランス	ドイツ	イタリア
一般サービス・治安	5.5	9.2	10.7	9.1	12.4
経済・公共	7.6	3.6	7.0	5.8	4.9
文化・教育	4.7	5.8	6.8	4.9	5.8
保健・社会保障	20.4	23.2	29.0	29.0	25.0
合計	38.1	41.8	53.4	48.7	48.0

- (備考) 1. OECD "General Government Accounts"より作成
 2. 分類は、SNA(国民経済計算)に基づき、以下のようまとめた。
 一般サービス : 一般公共サービス、防衛、公共の秩序・安全
 経済・公共 : 経済業務、環境保護、住宅・地域アメニティ
 文化・教育 : 娯楽・文化・宗教、教育
 保健・社会保障 : 同左
 3. アメリカは、SNA統計の分類を用いていないため、除外した。

*出所:内閣府「平成17年度 年次経済財政報告」2005年7月

	GDP	28,91
63-66,72-73,77-78		79-80,94
		81-88,89-90,94
38,67		81,83-85,86,87-88
63-64,72-74,78		92-93
81-82,87,89		4, 15,67
57		
		67
1,9-10,61-62,69,72		1,68
		87-89
45,63-66,69-73,74,77-78,89		33,36,42,50
50,53,72		9,64
21,26-27	1,000	24,26,29
32-33	1,000	24
		16-17,49,51,54,56,63-64
63-66,69,72,74,77		12-13,16,19
81-84		6
21,47-48,50,53,54,61		53
48		
61		72,75,76
72,89		34,46
79-80		53
57		94
94		62
		53,61
		21,29-30
57-58		16,62
86-87		
82		
5,32,38-41,45,67	GDP	22,28,30
82		64,66,82
81,84,85-87		81,85,86-87
19		50,56,57,58
14,19-20		18,19
17-18		82,85-87,89

		83		81
		63-64		
		32-33,39,41		
		83,87,89		38,42,43,64
				2-3,6,12,17,20
				4,67
		92-93	GDP	28,91
		89-90		
		82,89		
		1-11		57
		5		20
				1,34,35,38-46,49
	35-37,42,44,46,49	50		
		29		39-41
				85-87,89
				89-90
GDP	21,22,23,24,25,28			53
				38,40,43
		47,48,49		51
		50,51-52		64
		59,60		51,65-66
		21,22,23,28		32-33,39
		68,89		
		76-77		
	9,21,25,29,34-37,38,42-44,46,49			
		36-37,42-44		
		81,83-84		
		1,35-37,46		
		92		
		63,64,69,74-78		
		76-77		
		75,76,77		
		4		